

会津大学短期大学部地域活性化センター

会津大学短期大学部  
研究シーズ集



2025



「会津大学短期大学部研究シーズ集」更新にあたって

本学は開学以来、地域社会の経済文化の向上を設立使命とし、研究教育に加え、地域研究、公開講座による地域の生涯学習の充実を図るなど知識基盤社会の形成に努力してまいりました。2006年に公立大学法人となり、2007年には、福島県の地域資源を活かした地域活性化を積極的に展開していく組織として、会津大学短期大学部地域活性化センターを開設いたしました。2012年には、東日本大震災とそれに伴う原子力災害からの復旧・復興が喫緊の課題となっていたことから「地域貢献に関する基本方針」を決定して本学の地域連携に向けた姿勢を明らかにするとともに、当センターを中心に、地域や地域団体と連携を図り、複雑・多様化する地域課題に、これまで以上に組織的かつ積極的に取り組んでいくことといたしました。

本学には産業情報学科（経営情報コース、デザイン情報コース）、食物栄養学科並びに幼児教育・福祉学科があります。当センターは、本学の産業、経営、デザイン、情報、栄養、食品、幼児教育、保育、福祉等くらしに密着した幅広い特色ある専門領域群を活かし、大学と地域社会が連携・協働して課題に取り組むことにより活力ある地域社会を創造することを目指しております。若い学生たちの気づきやユニークなアイデアも活用しながら多様なシーズと地域社会のニーズを融合し、新しい価値観、地域産業、地域社会を創造していきたいと考えております。

2025年4月1日

地域活性化センター長 葉山亮三

共同研究、受託研究、奨学寄附金及び技術相談等のお問い合わせについて

会津大学短期大学部との共同研究、委託研究、奨学寄附金、技術相談等につきましては、本研究シーズ集をご覧ください、地域活性化センターにお問い合わせください。

本研究シーズ集に記載のない分野についても応じられる場合がございますのでお気軽にお問い合わせください。

※ 会津大学短期大学部の研究シーズ

研究シーズとは科学技術研究の種(Seeds)、つまり将来花咲き実を結ぶ可能性の高い研究をさします。会津大学短期大学部では、産業情報(経営情報・デザイン情報)、食物栄養、幼児教育・福祉などの分野においてさまざまな研究を推進しており、そこで生まれた研究成果をわかりやすくまとめ、本学の「知」を産業界や地域・社会に還元するという目的から「研究シーズ集」として公開しております。

お問い合わせ先

公立大学法人会津大学短期大学部 地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田 1-1

T e l : 0242-23-7034      F a x : 0242-37-2412

e-mail:chiiki@jc.u-aizu.ac.jp

<https://www.jc.u-aizu.ac.jp/>



## 目 次

### 1 産業情報学科

#### (1) 経営情報コース

中澤 真	(ナカザワ マコト)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	1
平澤 賢一	(ヒラサワ ケンイチ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	5
木谷 耕平	(キヤ コウヘイ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	7
成澤 徳子	(ナリサワ ノリコ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	9
八木橋 彰	(ヤギハシ アキラ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	11

#### (2) デザイン情報コース

柴崎 恭秀	(シバサキ ヤスヒデ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	14
高橋 延昌	(タカハシ ノブマサ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	16
横尾 誠	(ヨコオ マコト)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	19
吾子 可苗	(アコ カナエ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	21
沈 得正	(シム テークチン)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	23
北本 雅久	(キタモト ガク)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	25

### 2 食物栄養学科

左 一八	(ヒダリ カズヤ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	27
漆谷 博志	(ウルシタニ ヒロシ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	34
武井 利之	(タケイ トシユキ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	37
加藤 亮	(カトウ マコト)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	39
横田由香里	(ヨコタ ユカリ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	41
室井 弘子	(ムロイ ヒロコ)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	45
水尾 和雅	(ミズオ カズマサ)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	48
阿部 桂子	(アベ ケイコ)	助 手	・ ・ ・ ・ ・	50

## 2 食物栄養学科

平野 真唯	(ヒラノ マイ)	助 手	・ ・ ・ ・ ・	52
-------	----------	-----	-----------	----

## 3 幼児教育・福祉学科

木村 淳也	(キムラ ジュンヤ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	53
郭 小蘭	(カク ショウラン)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	55
河原田 潤	(カワラダ ジュン)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	58
若林 達司	(ワカバヤシ タツジ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	60
五十嵐一徳	(イガラシ カズノリ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	62
葉山 亮三	(ハヤマ リョウゾウ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	64
吉田 亜矢	(ヨシダ アヤ)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	66
渡部 琢也	(ワタナベ タクヤ)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	68
佐々木誠二	(ササキ セイジ)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	72
高田 正哉	(タカタ マサヤ)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	74

## キーワード索引

学科・コース名	教員名	キーワード	ページ	
1 (1) 産業情報学科経営情報コース	中澤 真	ICT教育、データ分析、生成AI、データマイニング、テキストマイニング	1	
	平澤 賢一	外資系企業・人事部・HRM・人事制度・ダイバーシティマネジメント	5	
	木谷 耕平	幸福度、生活満足度、地域経済、財政	7	
	成澤 徳子	地域文化、資源、生業、観光、地域づくり	9	
	八木橋 彰	小売マーケティング、買物弱者問題、地方創生、まちづくり、中心市街地活性化、地域資源のブランディング、スポーツマーケティング	11	
	1 (2) 産業情報学科デザイン情報コース	柴崎 恭秀	建築計画、建築設計、アート計画、地域計画、まちづくり	14
		高橋 延昌	PRデザイン、基礎造形、色彩、錯視、ロゴマーク、パッケージ、マスコット	16
		横尾 誠	ウェブ、画面、インターフェース、インタラクション、エクスペリエンス	19
		吾子 可苗	漆、工芸、乾漆、造形表現、ワークショップ	21
		沈 得正	デザイン思考、家具デザイン、生活用具デザイン、商品デザイン、CAD・CAM	23
		北本 雅久	グラフィックデザイン、ポスター、ロゴ、校章、フライヤー（チラシ）、パンフレット、パッケージ、広報物、展示企画、ワークショップ	25
		左 一八	糖質、糖鎖、シアル酸、ウイルス感染、抗糖鎖単クローン抗体、機能性食品、地域伝統食材	27
2 食物栄養学科	漆谷 博志	内分泌、内分泌攪乱化学物質、性ホルモン、水生動物、環境DNA	34	
	武井 利之	ペクチン、ヘミセルロース、オリゴ糖、がん細胞、アポトーシス誘導、放射性セシウム	37	
	加藤 亮	栄養指導、栄養教育、栄養教育ツール、予防、身体活動量	39	
	横田由香里	スポーツ栄養、栄養教育、栄養管理、たんぱく質、アスリート、高齢者	41	
	室井 弘子	給食経営管理、人材育成、調理実習、健康教育	45	
	水尾 和雅	料理のこつ、調理科学、減塩、テクスチャー	48	
	阿部 桂子	食育、親子料理教室、オーガニック給食、食品ロス	50	
	平野 真唯	食生活	52	
	3 幼児教育・福祉学科	木村 淳也	援助関係、ソーシャルワーク・スーパービジョン、連携、協働	53
		郭 小蘭	子どもに対する接し方	55
河原田 潤		音楽、音楽理論、合奏	58	
若林 達司		英語、文学、教育、発音、文法、読解、イギリス社会	60	
五十嵐一徳		社会的コミュニケーション、行動問題、アカデミックスキル、応用行動分析学	62	
葉山 亮三		造形教育、ワークショップ	64	
吉田 亜矢		子育て支援、保育相談、発達相談	66	
渡部 琢也		体力、体格・運動能力、幼児、児童、体づくり運動、高齢者、競技スポーツ、発育発達、体組成、サルコペニア、身体活動量	68	
佐々木誠二		ソーシャルワーク、チームアプローチ、権利擁護、多機関連携	72	
高田 正哉		教育学、哲学、教育哲学、メディア論、カルチュラル・スタディーズ	74	

## 産業情報学科 教授 修士（工学）

ナ カ ザ ワ マ コ ト

## 中澤 真

○所属学会・協会 / 情報処理学会, IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) ,

ACM (Association for Computing Machinery)

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野 : 知識情報処理 (人工知能・機械学習), 教育工学, 計算量理論

## これまでの研究

- 1 知識情報処理技術を応用した効率的なデータ圧縮法
- 2 人工知能における, 漸近的計算限界の解明
- 3 地域情報データベースの構築

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 プログラミング教育を中心とした情報教育の学習履歴分析
- 2 子ども向け・大学向け・企業向けのICTを活用した学習システムについて
- 3 統計的アプローチによるクチコミ・各種データ分析
- 4 生成AIを活用した先進的教育方法

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 初等教育向けプログラミング教育の実践と支援
- 2 ICTを活用した授業実践指導, ITC教育支援
- 3 テキストマイニング・データマイニングなどのデータ分析手法の活用支援
- 4 ICTを活用した業務効率化の支援
- 5 ChatGPTなどの生成AIの活用方法

キーワード : ICT教育、データ分析、生成AI、データマイニング、テキストマイニング

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
	[外部資金獲得状況]
1	科学研究費補助金－基盤研究（C） 「生成AI時代における学習者の編集履歴を活用したプログラム読解力向上支援システム」 2024-2026
2	科学研究費補助金－基盤研究（B） 「言語学習を対象とした学習状態把握による個別最適化学習システムの開発」 2022-2025
3	科学研究費補助金－挑戦的研究（萌芽） 「ビジュアル型言語とテキスト型言語の学習状況の分析によるシームレスな移行の実現」 2021-2023
4	科学研究費補助金－基盤研究（C）代表 「小学校プログラミング教育のための学習履歴に基づくリアルタイム授業支援システム」 2020-2024
5	科学研究費補助金－基盤研究（B） 「言語学習を対象とした時空を越えて相手を感じられる自学自習システムの開発」 2019-2022
6	会津大学競争的研究費「学校教育を支援する地方公立短大の在り方に関する調査研究： Moodleを活用した学習支援プラットフォームの構築」 2021
7	会津大学競争的研究費「幼児教育学科における保育者養成・専門教育科目「絵本学入門」の提案」 2020
8	科学研究費補助金－基盤研究（C）代表 「プログラミング学習時の小学生の思考プロセスの解析とこれに基づく教育支援システム」 2017-2021
9	科学研究費補助金－基盤研究（C）代表 「コンテキストウェアネスを活用した学習者行動モデルと学習支援環境の開発と実証」 2014-2018
10	科学研究費補助金－基盤研究(C) 「クラウドコンピューティング環境による次世代eラーニングスタイルに関する研究開発」 2011-2014
11	科学研究費補助金－基盤研究（B） 「グローバル・リテラシー大学英語教育のモデル化と自動成果判定システムの開発」 2012-2013
	[論文]
1	"Applying Second Language Acquisition (SLA) Strategies to Programming Education: A Comparative Analysis of Learning Approaches in Early Japanese Curriculum", International Multidisciplinary Research Journal, Volume: III, pp.31-39,
2	"Mental Stress Analysis During Visual- And Text-Based Language Learning by Measuring Heart Rate Variability",Lecture Notes in Networks and Systems, vol 988. Springer, Cham. pp.13-22.
3	"Mental Stress Analysis During Visual- And Text-Based Language Learning by Measuring Heart Rate Variability", Lecture Notes in Networks and Systems, vol 988. Springer, pp.13-22, May 2024.
4	"A Study on the Relationship Between Heart Rate and Brain Waves During Programming Task in Several Experiments", ICSCA 2023 ACM, pp. 321-327. June 2023.
5	"Brain Wave, Heart Rate, and Facial Expression Relationship Validation During Programming Learning Comprehension Study", Communications in Computer and Information Science, Springer Nature, pp. 523-535, 2023.
6	"Research Results on System Development of the Research Project of a Self-Study System for Language Learning", IEEE EDUNINE, pp. 13-16, 2022.
7	"Learning-State-Estimation Method Using Browsing History and Electroencephalogram During Programming Language Learning and Its Evaluation", CCIS, vol.1344. Springer, pp. 40-55, 2021.

8	"Development of problem extraction tool for debugging practice using learning history", Proceeding of the 17th Annual Hawaii International Conference on Education , 2019.
9	"On the Influence of Network Quality upon International Distance Learning", 2018 International Conference on Big Data and Education (ICBDE 2018) , 2018.
10	"Scratchを用いたプログラミング学習時の閲覧履歴・編集履歴・脳波履歴を組み合わせた学習者分析", 情報処理学会 コンピュータと教育 (CE) ,2017-CE-138(1),pp.1-6, 2017.
11	"A Method based on Self-study Log Information for Improving Effectiveness of Classroom Component in Flipped Classroom Approach", International Journal of Software Innovation , Volume 4, Issue 2, 2016.
12	"Learning Styles for e-learning Systems over Virtual Desktop Infrastructure," Proc. of the 2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, pp.3248-3253, 2014
13	"The Influence of QoS on e-Learning Environment under Virtual Desktop Infrastructure", 5th International Conference on Communications, Computers and Applications, pp. 30-34, 2012.
14	"地方大学における遠隔講義の実践とその可能性について", 会津大学短期大学部 研究紀要 第69号, 2012.
15	"仮想化デスクトップによるeラーニングシステムにおける通信品質が与える影響について", 日本e-Learning学会, 2011年度学術講演会, 2011
16	"授業における円滑なコミュニケーション支援のためのLMSの活用について", 会津大学短期大学部 研究年報 第66号, 2009
17	"遠隔講義における双方向コミュニケーションについての課題とその解決に向けて", 会津大学短期大学部 研究年報 第63号, 2006.
18	"インターネットを用いた大学間連携による遠隔授業の開発と評価", 武蔵工業大学 環境情報学部 情報メディアセンタージャーナル, 第7号, 2006.
[ 特許 ]	
1	分析システム及び分析方法 (特許取得: 特許第7057566号)
2	プログラミング学習における進捗分析システムおよびその方法 (出願番号: 特願2021-035852)
3	問題提示装置、問題提示システム、問題提示方法、及び問題提示プログラム (出願番号: 特願2018-192160)
4	学習支援システム, 学習支援装置および学習支援方法 (出願番号: 特願2017-017634)
5	eラーニングシステム及びeラーニング用プログラム (出願番号: 特願2015-073652)
[ 受賞 ]	
1	「会津DX日新館」事業 最優秀賞受賞
2	The 8th International STEM Education Conference (iSTEM-Ed 2023) Best Paper Award 受賞
3	IEEE World Engineering EducationConference (EDUNINE2022) Best Paper Award 受賞
4	第77回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2015

5 第74回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2012
[ 社会的活動 ]
1 早稲田大学工学研究所 特別研究部会「次世代eラーニングに関する研究」メンバー
2 会津若松市 みらいづ探究ラボ 審査委員
3 大熊町未来教育会議 委員
4 会津若松市 I C T 教育支援業務委託プロポーザル選考委員会委員長
5 会津DX日新館事業「路線バスの『利用しにくさ』の改善」
6 一箕小学校との連携事業「初等教育向けプログラミング授業」
7 山形市立商業高校との高大連携事業 遠隔講義 「Webビジネスの可能性」 「やさしい暗号のはなし」 など

## 産業情報学科 教授 博士（学術）

ヒラサワ ケンイチ  
平澤 賢一

○所属学会・協会 / 日本経営学会、日本労務学会、国際ビジネス研究学会、異文化経営学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：経営学（国際経営論）

これまでの研究

- 1 人材マネジメント（外資系企業のHRM、障害者雇用）
- 2 国際経営（外資系企業を事例として）
- 3 上場企業IR（投資家向け広報）部門の社外対応
- 4 金融・証券教育

## ●現在の研究テーマおよび概要

『上場企業IR部門における社外対応活動』

- 1 上場企業のIR（投資家向け広報）部門を対象とした継続的な実態調査を踏まえて、社外対応活動の実務とその効果を明らかにする。
- 『老舗企業の経営理念』
- 2 老舗企業に対し経営理念の有無を問い合わせると、4割が「無し」と回答した。それは九百年超の超老舗でも同様であった。経営理念井変わるものがなんであるか、を追及している。

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 組織・人事制度改革
- 2 ダイバーシティ&インクルージョン

キーワード：外資系企業・人事部・HRM・人事制度・ダイバーシティマネジメント

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 「経営の財務」『経営学講義』（中央経済社）
- 2 「銀行の海外経営と公式化の意義」『経営の国際開発に関する研究』（多賀出版）

[ 論文 ]	
1	「地域企業に共通する経営理念：会津地域の事例」ワークショップ「持続可能な地域社会における地域中小企業と経営学の役割」『日本経営学会第97回全国大会論集』
2	「上場企業IR部門の社外対応と企業業績－日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として－」『経営学論集第88集』（日本経営学会編、千倉書房）
3	「上場企業IR部門における社外対応活動－日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として－」『会津大学短期大学部研究紀要第74号』＜大橋良生氏と共著＞
4	「米系企業と欧州系企業の人事部比較」『日本労務学会第36回全国大会論集』
5	「外資系企業人事部の役割と意思決定プロセス」『日本労務学会第34回全国大会論集』
6	「外資系銀行人事部の役割」『経営学論集：21世紀経営学の課題と展望』（日本経営学会編・千倉書房）
[ 社会的活動 ]	
1	喜多方市水道事業経営等審議会(2023～)
2	喜多方市行政改革推進委員会(2004～現在)
3	会津若松市廃棄物処理運営審議会(2020～現在)
4	会津若松市外部評価委員会(2019～2022)
5	喜多方市環境審議会(2015-2017)
6	福島県立若松商業高等学校学校評議員（2007-2013）
7	福島県立病院事業経営評価委員会（2007-2009）
8	65歳雇用導入プロジェクト事業継続雇用達成会議(2005-2007)

## 経営情報学科 准教授 博士（経済学）

キ ヤ コ ウ ヘ イ  
木谷 耕平

○所属学会・協会 / 日本財政学会、日本経済学会、行動経済学会、日本社会関係学会、アメリカ経済学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：財政学、幸福の経済学、地域経済学

これまでの研究

- 1 主観的効用（幸福度や生活満足度）の決定要因に関する研究
- 2 地域間の人口移動に関する研究
- 3 ソブリン格付けと経済活動に関する研究
- 4 財政赤字に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 税や政府支出に対する人々の選好についての研究  
どのような税や政府支出を人々は好み、それは個人の属性によってどう異なるのかを実証的に研究
- 2 財政赤字の要因に関する研究  
財政赤字の要因と考えられる財政錯覚や世代間の選好の違いについて実証的に研究
- 3 地域経済と地域間人口移動に関する研究  
特に北海道の地域経済と人口移動について、その動向や変化の要因について実証的に研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 幸福度や生活満足度の分析・活用方法について
- 2 政策効果の検証について
- 3 地域経済の現状分析の方法について

キーワード：幸福度、生活満足度、地域経済、財政

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 宇都宮仁・米本清編『経済学入門』、（株）みらい、2018年。（第2章 消費者の行動）

[ 論文 ]	
1	「フロリダ州カレッジシステムの概要と日本の短期大学への示唆」『会津大学短期大学部研究紀要』（会津大学短期大学部）、第82号、2025年3月.
2	「財政錯覚をめぐる実証研究の課題と今後の展望」『会津大学短期大学部研究紀要』（会津大学短期大学部）、第82号、2025年3月.
3	「札幌市への人口移動要因に関する実証研究」『旭川大学経済学部紀要』（旭川大学経済学部）、第79・80合併号、2021年3月.
4	「旭川市地域分析のための産業連関表の作成とその活用」『旭川大学地域研究所年報』（旭川大学地域研究所）、第38・39合併号、2018年3月. (共著)
5	「旭川におけるスポーツ人材の育成と地域活性化：道産子メソッドによるサッカー人材育成のモデル化」『旭川大学地域研究所年報』（旭川大学地域研究所）、第38・39合併号、2018年3月. (共著)
6	「ソブリン格付けの影響に関する先行研究レビュー」『国際学研究』（関西学院大学国際学部）、第6巻3号、2017年3月.
7	「財政と幸福度の関係を巡る研究の現状と今後の展望」『旭川大学経済学部紀要』（旭川大学経済学部）、第75号、2016年3月.
8	"Essays on Life Satisfaction and Public Finance," 博士論文 (University of Washington, Seattle WA) , June 2013.
9	"Life Satisfaction and Public Finance: Empirical Analysis Using U.S. Micro Data," SSRN Working Paper, August 2012, No. 2126357.
[ 社会的活動 ]	
1	喜多方市工場等立地促進審議会委員 (2023年3月-現在)
2	会津若松市地域福祉計画等推進会議座長 (2022年10月-現在)
3	会津若松市中小企業・小規模企業未来会議座長 (2022年6月-現在)
4	旭川市観光振興条例検討部会委員 (2021年2月-2022年3月)
5	旭川市総合戦略検討懇談会委員 (2020年6月-2022年3月)
6	旭川市総合計画審議会委員 (2017年9月-2019年12月)
7	旭川市中小企業審議会働き方改革検討部会委員 (2017年4月-2018年3月)
8	旭川商工会議所「旭川成長戦略ビジョン」・「アクションプラン」作成ワーキンググループ座長 (2016年2月-2019年1月)

産業情報学科 准教授 博士（地域研究）

ナ リ サ ワ ノ リ コ

成澤 徳子

○所属学会・協会 / 日本アフリカ学会、日本文化人類学会、生態人類学会、日本生活学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 地域研究、文化人類学・民俗学、社会学

これまでの研究

- 1 アフリカ農村社会における生業変容と女性の現金稼得に関する研究
- 2 アフリカ農村における女性の贈答慣行にみる社会関係の形成と展開に関する研究
- 3 アフリカの高等教育分野における学生の国際モビリティに関する研究
- 4 日本の山間地におけるイモ類の貯蔵技術と食文化に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 人口減少・少子高齢化社会における文化の継承に関する研究
- 2 6次産業化による農山村の地域振興に関する研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 文化や歴史などの地域資源の保護と活用について
- 2 持続可能な地域振興・地域活性化について

キ ー ワ ー ド : 地域文化、資源、生業、観光、地域づくり

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 熊谷嘉隆（監修）、成澤徳子（編集代表）、秋葉丈志・豊田哲也・根岸洋（編）『人口減少・超高齢社会と外国人の包摂—外国人労働者・日本語教育・民俗文化の継承』明石書店、2022年（共編著）
- 2 島田周平・大山修一（編）『ザンビアを知るための55章（エリア・スタディーズ180）』明石書店、2020年（共著）
- 3 島田周平・上田元（編）『世界地誌シリーズ8 アフリカ』朝倉書店、2017年（共著）

4	羽瀧一代・内藤直樹・岩佐広光（編）『メディアのフィールドワークーアフリカとケータイの未来』北樹出版、2012年（共著）
5	椎野若菜（編）『「シングル」で生きる一人類学者のフィールドから』御茶の水書房、2010年（共著）
[ 論文 ]	
1	成澤徳子「サツマイモの貯蔵技術と食文化ー佐渡市琴浦集落の農業史・生活史の視座から」『会津大学短期大学部研究紀要』第82号、2025年、pp. 39-47（研究ノート）
2	成澤徳子「ザンビアにおける女性同士の友人関係の形成ー友情を祝う祝祭の創出に着目して」『国際地域学研究』（東洋大学国際学部）第27号、2024年、pp. 57-67
3	根岸洋・成澤徳子「伝統行事における継承と包摂」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』（国際教養大学アジア地域研究連携機構）第14号、2022年、pp. 29-36
4	成澤徳子「男鹿のナマハゲ行事の観光化と外部参加者の受け入れ」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』（国際教養大学アジア地域研究連携機構）第11号、2020年、pp.99-110
5	豊田哲也・成澤徳子「韓国での自治体主導の農業季節労働者制度の導入について」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』（国際教養大学アジア地域研究連携機構）第11号、2020年、pp. 129-138
6	成澤徳子「嗜好品文化にみる生活文化の変容ーザンビア、トンガ社会の『甘い酒』チブワントゥを事例に」『生活學論叢』（日本生活学会）第20号、2012年、pp. 3-16
7	成澤徳子『アフリカ農村社会における女性の生業多様化とジェンダー関係の再編ーザンビアのトンガを事例として』博士論文（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）、2012年
8	NARISAWA Noriko, "Diversified Livelihood of Peasant Women in Southern Zambia," <i>Working Paper on Social-Ecological Resilience Series No.2011-014</i> , Research Institute for Humanity and Nature, 2011
[ 社会的活動 ]	
1	福島県公害審査会委員（2025年4月～現在）
2	特定非営利活動法人アフリック・アフリカ会員（2007年6月～現在）

## 産業情報学科 准教授 修士（商学）

ヤ ギ ハ シ      ア キ ラ  
八木橋 彰

○所属学会・協会 / 日本商業学会、日本消費者行動研究学会、日本地域政策学会、

スポーツ・マネジメント学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : マーケティング論、流通論、消費者行動論

これまでの研究

- 1 買物行動の多様化に関する研究
- 2 買物弱者問題に関する研究  
商業統計や国勢調査などのマクロ・データを用いた検討 中心市街地などの政策的視点からの検討

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 まちづくり政策の政策効果・評価に関する研究  
まちづくり政策の政策効果をマクロ・データを用いた分析や個別事例の視点から検討
- 2 SNSを活用した地域資源のブランディング
- 3 スポーツを起点とした地方創生・地域活性化の研究  
スポーツビジネス、スポーツ・ツーリズムによる地域への経済効果や地域活性化の可能性について検討

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 小売業の流通・販売戦略（インターネット販売、実店舗販売、宅配サービス・ロジスティクスなど）
- 2 買物弱者問題へのアプローチ（中心市街地活性化、移動販売など）
- 3 まちづくりへのアプローチ（中心市街地活性化、グリーン・ツーリズム、スポーツ・ツーリズム、フード・ツーリズム、イベント、ブランディング、SNSの活用など）

キ ー ワ ー ド : 小売マーケティング、買物弱者問題、地方創生、まちづくり、中心市街地活性化  
地域資源のブランディング、スポーツマーケティング

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 論文 ]

- 1 「マルチチャネル・ショッピングの進展がもたらす購買意思決定の多様化に関する実証研究」『慶應義塾大学商学研究科』（修士論文）,2010年.
- 2 「小売業の効率性追求による買物環境へのインパクト」『経済活動のグローバル化と社会』（慶應義塾大学大学院商学研究科 2010年度 大学院高度化推進研究プロジェクト）,2011年,143-153頁.

3	「買物行動の多様化に関する実証研究」『慶應商学論集』（慶應義塾大学大学院商学研究科）,2012年,27-45頁.
4	「飲食料品取扱い小売業の供給体制に関する理論的考察—小売主導型SCMに着目して—」『会津大学短期大学部研究紀要』,2015年,43-53頁.
5	「小売構造研究の再検討」『会津大学短期大学部研究紀要』,2016年,101-122頁.
6	「消費者を取巻く買物環境と中心市街地活性化政策に関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2017年,95-120頁.
7	「コンビニエンス・ストアの出店活動と物流システムに関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2019年,83-105頁.
8	「スポーツマーケティング研究の多様化に関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2019年,107-123頁.
9	「地域資源の融合とICTを活用したブランディング—地方創生に向けたSNSの活用—」『会津大学短期大学部研究紀要』,2020年,43-58頁.
10	「人口減少社会における中心市街地の役割—会津若松市大町通りで実践活動より—」『日本地域政策研究第30号』（連載 研究と政策の現場から）,2023年,104-105頁.（招待）
11	「地域ブランドの創造に向けたシティプロモーション—ソーシャルメディアの活用に着目して—」『三田商学研究第66巻第3号』,2023年,301-317頁.（招待）
[ 社会的活動 ]	
1	河東・北会津地域づくり委員会アドバイザー（2013～2014）
2	会津若松市「買い物弱者対策地域協議会」座長（2014～2015）
3	地域産品ブランド認定審査委員会アドバイザー（2014）
4	地域産品ブランド認定審査委員会委員長（2014～継続中）
5	会津若松市「農村活性化プロジェクト支援事業認定審査会」委員（2014～継続中）
6	会津若松市「行政提案型協働モデル事業」（2014～2016）
7	会津若松市「会津都市計画事業扇町土地区画整理審議会」委員（2014～継続中）
8	会津若松市「ふるさと納税返礼品発送業務委託プロポーザル」委員（2014～2022）
9	喜多方市「総合計画審議会」委員（2021～継続中）
10	会津若松市「基幹集落センター指定管理者候補者審査委員会」委員長(2022)
11	会津若松市「外部評価委員会」委員長（2023～継続中）
12	会津若松市「河東農村環境改善センター指定管理者候補者選定委員会」委員長（2023～2024）

13 会津若松市「会津総合射撃場指定管理者候補者選定委員会」委員長（2023）
14 会津若松市「卸売市場指定管理者選定委員会」委員長（2023）
15 福島県生徒商業研究発表大会 審査委員（2023～継続中）
16 会津若松市「商工審議会」委員長(2023)
17 会津美里町「高田地域まちなか賑わい創出協議会」委員（2023～2024）
18 喜多方市「商業振興ビジョン検討会議」委員長（2024）

## 産業情報学科 教授 修士（芸術学）

シバサキ ヤスヒデ

## 柴崎 恭秀

○所属学会・協会 / 日本建築学会、こども環境学会、日本建築仕上学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：建築計画、建築設計、地域計画、アート計画

これまでの研究

- 1 公共施設・キャンパス・住宅の計画・設計
- 2 応急仮設住宅の計画・研究、まちづくりの研究
- 3 地域材の活用研究、民家・街並み研究 等

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 地域アートプロジェクトの計画  
地域で行われるビエンナーレ、トリエンナーレなどのアート計画・会場構成など
- 2 木造住宅における矩計等ディテールに関する研究  
木造住宅のディテールについて、矩計図を主とした従来工法と最新工法の比較や地域性についての研究
- 3 杉間伐材を用いた住宅の新構法の研究  
県産杉間伐材を用いた積層パネル構法・新構法について研究し地域材のさらなる活用を検討する。
- 4 CLT等の汎用モデル研究、NCフライスを活用した建築モデルの研究
- 5 民家の分布研究、民家のディテール研究、街並み形成研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 建築計画・設計に関する全般
- 2 アートプロジェクト・アート計画
- 3 地域計画・まちづくり
- 4 リノベーション、建物・街並み保存等

キーワード：建築計画、建築設計、アート計画、地域計画、まちづくり

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]	
1	「まちを再生する99のアイデア」著書（彰国社・2012）
2	「仮設住宅アーカイブス－福島の応急仮設住宅(Archives of Temporary Housing Units in Fukushima Built for Evacuees of the Great East Japan Earthquake)」平成25年度会津大学競争的研究費(復興枠)研究助成
[ 論文 ]	
1	Wiley Online Library,Article: INAWASHIRO GALLERY - Reconstruction of dozo (warehouse made of soil) destroyed by the Great East Japan Earthquake -
2	旧街道における街並み保存と景観形成に関するデザイン研究－「民家は生きてきた」再見を通して－
[ 社会的活動 ]	
1	福島大学芸術による地域創造研究所プロジェクト客員研究員
2	会津若松市景観審議会会長
3	ふくしま住宅建築賞選考委員長
4	会津図書館協議会会長 等

## 産業情報学科 教授 修士（デザイン学）

タカハシ ノブマサ

## 高橋 延昌

○所属学会・協会 / 日本基礎造形学会（事務局長）、日本デザイン学会（評議員）、

日本色彩教育研究会（理事）、アジアネットワークビヨンドデザイン

●専門分野とこれまでの研究	※詳細については個人ホームページで紹介 → <a href="http://takahainfo.com/">http://takahainfo.com/</a>
専門分野	： 視覚伝達デザイン、基礎造形、デザイン教育
これまでの研究	
1	視覚伝達デザインの実践（広告・出版・印刷・パッケージ等、PRデザイン）
2	コンピュータグラフィックスを活用した教育の実態調査（小学校から高校まで）
3	光の軌跡・ライトアートの教材研究（科研費採択等）
●現在の研究テーマおよび概要	
1	地域ブランドもしくは地域活性化に役立つ視覚伝達デザインの提案： 理論や調査だけでなく、実際に形として見えるPRツールを新たに提案できる研究スタイル
2	学生のアイデアを活用した奥会津地方・只見線沿線の活性化デザイン
3	産学連携および小中高大連携事業・ワークショップ
4	基礎造形（基礎デザイン）の教材開発
●相談に応じられる分野・キーワード	
1	地域ブランドや商品をPRするデザインの提案
2	基礎造形教育（基礎デザイン教育）の調査及び開発
3	ラベルやパッケージ、ポスター等のデザイン提案（学生コンペとしての実施も可）
4	色彩もしくは錯視についてのセミナー
5	自治体や各種団体イメージキャラクターやマスコット、ロゴマークなどのデザインもしくは審査
キーワード	： PRデザイン、基礎造形、色彩、錯視、ロゴマーク、パッケージ、マスコット

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 著書 ]	
1	『色のまなび事典』3巻「光であそぶ①光の軌跡」（共著），株式会社星の環会，2015
2	「映像メディア表現の教育的意義: 感性による教育の地平から」（共著），学術研究出版，2024
3	商標（個人名義で登録中）3件
[ 論文 ]	
1	張子「ふわもこ羊」郷土玩具の新たな商品化，日本デザイン学会作品集「デザイン学研究」第20号2014
2	配色技法による地域振興キャラクターの分類とその色彩教育へ利用の可能性，日本基礎造形学会論文集「基礎造形023」，2015
3	光の重色を活用した加法混色教材の試み，アジア基礎造形連合学会2015 成田大会 学会誌，2016
4	スータブル・ギア・デザインの概念と地域活性化への試み：キャラクターをコアにして震災復興および風評被害対策に立ち向かう福島県の事例より，日本デザイン学会第59回研究発表，2012
5	奥会津・只見線沿線地域の社会問題を把握するための基礎研究-2015年および2016年の調査より-，会津大学短期大学部研究紀要第74号，2017
6	新たな紙製ハンドメイドマスク「Petra Mask」の基礎開発，日本基礎造形学会 学会誌「基礎造形029」，2021
7	彩度を意識する基礎造形教材「クロマ・アニメーション」の開発，日本基礎造形学会 学会誌「基礎造形030」，2022
8	奇跡の全線運転再開を遂げたJR只見線の経緯と課題 - 奥会津地域の地方交通線に関する多角的考察 - ，会津大学短期大学部研究紀要第81号，2024
[ 社会的活動 ]	
1	国立大学法人福島大学 非常勤講師（担当科目：視覚デザインⅠ・Ⅱ）
2	画像情報教育振興協会 認定CG講師、認定マルチメディア講師
3	産学連携および小中高大連携事業
4	ロゴマークやマスコットなど各種デザイン多数（代表作：会津美里町「あいづじげん」）
5	福島県食品産業協会「なつはぜふるーてい」考案（2013年）
6	会津若松市健康増進課「レッツ！こぼりんダンス」（2014年）
7	只見線利活用プロジェクトチーム（所管：福島県生活環境部）

8 喜多方市文化芸術推進基本計画審議委員

9 福島県 生活環境部指定管理者選定検討会(自然保護)会長

10 全国高等学校パソコンコンクール（パソコン甲子園）審査委員

産業情報学科 准教授 博士（芸術工学）

ヨ コ オ マコト  
横尾 誠

○所属学会・協会 / 日本デザイン学会 芸術工学会 Asia Digital Art and Design Association (ADADA)

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野： インターフェースデザイン インタラクションデザイン デジタルツイン

これまでの研究

- 1 アイゲイズインターフェースに関する研究
- 2 画面表示される時系列的切替え文字に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 フィジカルコンピューティングを使用した入力デバイスとコンテンツの活用に関する研究
- 2 360度カメラによる空間撮影とその閲覧方法に関する研究
- 3 低コストタイプのハンディタイプLiDARスキャナの制作とそのスキャナを使用した史跡等の歩行による3Dスキャンとそのデータの地域デザイン活動への活用

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 インターフェースデザイン画面デザインと時系列的変化がある画面デザインにおける主観評価など
- 2 インタラクションデザインヒトの行動に反応するモノのふるまいのデザインとその評価

キーワード： ウェブ、画面、インターフェース、インタラクション、エクスペリエンス

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 論文 ]

- 1 "Development of a portable LiDAR measuring device to obtain the external shape of ruins with earthworks" ADADA+CUMULUS 2024 Proceedings of International Conference for Asia Digital Art and Design 2024
- 2 "中山間地域における伝統技術の継承とサポートツールの提案-会津若松市湊町の炭焼きプロジェクト-" JSSD 日本デザイン学会第71回研究発表大会
- 3 "Urushi Rotating Controllers and Interface Design Based on Physical Computing" The 10th Annual Conference of ADADA & the 6th International Conference of TADMD, pp.41-45, 2012

4	“フィジカルコンピューティングの漆芸作品への展開” デザイン学会 第59回研究発表大会概要集, pp.314-315, 2012
5	“地域資源の映像コンテンツ制作に関する研究-取材テーマの類型化とシーン構成のパターン化による作業の効率化-” 芸術工学会 2008年度秋季大会, pp.52-53, 2008
6	“地域活性化を目的とした地域資源の映像コンテンツ制作とその指導方法” 平成20年度教育改革IT戦略大会, pp.60-61, 2007
7	“アイゲイズインターフェースにおける文字入力ツール” 芸術工学会, 芸術工学会誌26号, 有, pp.114~117, 2000.
8	“A Design and Design Process of Reading Test Tool for Animating Character Display” 4th. Asian Design Conference Bulletin, ISBN4-9980776-0-0 C3072, pp.711~720, 1999.
[ 特許 ]	
1	“テキスト高速順次切替表示システムおよびテキスト高速順次切替表示プログラム並びにテキスト高速順次切替表示方法”, 富松潔, 正司 敬之, 福川洋, 横尾誠, 特開2004-220109, 2004
[ 社会的活動 ]	
1	第2回まちなか出店応援補助金認定審査会 座長 2024年9月
2	第1回まちなか出店応援補助金認定審査会 座長 2024年6月
3	会津若松市チャレンジ企業応援補助金事業審査会 座長 2024年6月
4	会津若松市湊地区活性化協議会みなとまちづくりネットワーク協力員 2021-2023
5	あいづまちなかアートプロジェクト記録プロジェクト 360度撮影動画制作公開 2020~2022
6	会津若松市湊地区みんなと湊まちづくりネットワーク教育環境部会協働 湊地区のたたら文化と砂鉄に関する調査研究事業 2019
7	会津若松市湊地区地域活性化協議会広報戦略会議 外部委員 2016-2018
8	福島県中小企業団体中央会 講師 【組合復興・自立等組織化・運営集中支援事業（会津宗教用具協同組合）】 2015-2018
9	「Pepper社会貢献プログラム」スクールチャレンジ 大熊町プログラミング成果発表会2017 審査委員
10	会津・漆の芸術祭実行委員 （平成24年度） 2010-2012
11	<漆のくに・会津>プロジェクト実行委員 （平成21年度 文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業） 2009-2010
12	産業人材育成推進協議会 （テクノアカデミー会津） 2008-2011

## 産業情報学科 准教授 修士（美術）

ア コ カ ナ エ  
吾子 可苗

○所属学会・協会 / 現代工芸美術家協会、漆工史学会、漆を科学する会

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 漆工芸

これまでの研究

- 1 乾漆技法を用いた造形表現の研究
- 2 色漆の活用についての研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 乾漆技法と加飾技法を用いた造形表現の研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 漆工芸の技法に関する全般
- 2 漆工材料を用いたワークショップおよび講座

キ ー ワ ー ド : 漆、工芸、乾漆、造形表現、ワークショップ

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 作品発表 ]

- 1 日本現代工芸美術展（2012～）
- 2 会津・漆の芸術祭（2010～2012）
- 3 あいづまちなかアートプロジェクト（2013、2014、2016、2017）
- 4 中日韓民間漆芸芸術激清展（2018）  
中国福建省海峡民間芸術館
- 5 Asian Lacquer Craft Exchange Research Program（2018）  
カンボジア シェムリアップ
- 6 福島アートアニュアル2022 かたちが生まれるとき—吾子可苗・黒沼令（2022）  
福島県立美術館

7	会津漆美術工芸作品展～喜多方の漆の歩みとともに～（2023） 喜多方市美術館
8	風月の芸術祭in白河2024（2024）
[ 研究報告書 ]	
1	「色漆の発色に関する研究」 『福島県ハイテクプラザ令和4年度試験研究報告書』2023（共著）
2	「『青光塗』のための新規色漆の開発（第1報）」 『福島県ハイテクプラザ令和5年度試験研究報告書』2024（共著）
3	「大堀相馬焼における陶胎漆器の開発」 『福島県ハイテクプラザ令和5年度試験研究報告書』2024（共著）
[ 社会的活動 ]	
1	福島県文化振興審議会委員（2018～2020）
2	第47回東北現代工芸美術展 審査員（2023）
3	第78回福島県総合美術展覧会 審査員（2024）
4	第79回会津総合美術展 審査員（2025）

産業情報学科 准教授 博士（工学）

シ ム テ ー ク チ ン

沈 得正

○所属学会・協会 / 日本デザイン学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : プロダクトデザイン、感性価値デザイン

これまでの研究

- 1 感性デザイン思考の枠組みと手法
- 2 波形単板コアパネルによる軽量家具のデザイン
- 3 組み立てやすさを考慮した組み立て家具接合部の提案
- 4 染色竹材を用いた効果的な表現手法の模索
- 5 家具固定を促す内装デザインの提案
- 6 3D デジタル技術を用いた陶器デザインの提案
- 7 ジョイントに着目した竹材接合法 - 竹ツールと竹テントを想定したジョイントの提案
- 8 デザイン思考教育による長期的な教育効果の分析

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 竹材を利用した地域活性化への試み
- 2 コーティングに着目した和紙の用途開発
- 3 不安を評価するためのツール開発 - 不安要素の可視化
- 4 転倒危険度を評価するためのツール開発 - 圧力センサーを用いたインソールのデザイン

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 デザイン思考全般
- 2 材料・技術の利活用方法

3	生活用具（雑貨、キッチン用品、家具、玩具など）のデザイン
4	形の検討や型づくりの役に立つ、Fusion360による3Dデータの作成
5	試作品づくりの役に立つ、3Dデータを用いて3DプリンターやCNCによる試作品づくり
キ ー ワ ー ド : デザイン思考、家具デザイン、生活用具デザイン、商品デザイン、CAD・CAM	
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 論文 ]	
1	植物繊維質材による敷物の物理的・感覚的性質:- 現代生活に適した植物繊維質材による敷物の提案（1）：デザイン学研究, 60(6), 55-64, 2014年
2	タケの構造に着目した染色方法の検討と染色竹材の印象評価：デザイン学研究, 63(6), 65-72, 2016年
3	竹材の染色部位と色が視覚的印象に及ぼす影響：デザイン学研究, 64(4), 1-8, 2017年
4	VISUAL IMPRESSION OF INDONESIAN TRADITIONAL PATTERN ON THE BAMBOO MATERIALS : Journal of the Science of Design, 4(2), 1-10, 2020
5	VISUAL IMPRESSION OF BAMBOO STICKS AND ACRYLIC RODS COMBINATION : Journal of the Science of Design, 4(1), 49-58, 2020
6	フィラーとプラスチックによる複合材料の経時変化に伴う質感変化：デザイン学研究, 67(1), 29-38, 2020年
7	材料の特性に着目した感性価値向上の試み (特集 感性設計の新展開(2))：日本設計工学会誌, 55(4), 218-224, 2020年
8	Sign Language Vocabulary Recognition Only with Tactile Sensing Glove : 17th IEEE International Symposium on Embedded Multicore/Many-core Systems-on-chip, 2024
[ 社会的活動 ]	
1	大戸まちづくりプロジェクトメンバー（2019.4～2024.3）
2	長岡造形大学非常勤講師（2020.4～現在） 担当科目：デザイン要素技術
3	坂下まちづくりプロジェクトメンバー（2022.10～2025.3）
4	仁愛高等学校非常勤講師（2022.4～現在） 担当科目：デザイン思考ワークショップ
5	遠野和紙あかり展実行委員会委員（2024.4～2025.3）

## 産業情報学科 准教授 修士（造形）

キ タ モ ト ガ ク

## 北本 雅久

○所属学会・協会 / 日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : グラフィックデザイン

これまでの研究

- 1 印刷表現を主とするデザイン制作
- 2 デザイン・美術分野の展示企画

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 グラフィックデザインの制作研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 広報物（ポスターやフライヤーなど）のデザイン
- 2 ロゴや校章のデザイン
- 3 パッケージのデザイン
- 4 グラフィックデザインの講座、ワークショップ
- 5 展覧会やアートイベントの展示レイアウト、ビジュアルデザイン

キ ー ワ ー ド : グラフィックデザイン、ポスター、ロゴ、校章、フライヤー（チラシ）、パンフレット、パッケージ、広報物、展示企画、ワークショップ

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 作品発表 ]

- 1 「第12回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2018」富山県美術館（2018）
- 2 あいづまちなかアートプロジェクト各種デザイン（2016～2022）
- 3 会津大学短期大学部各種広報ツール（2015～2025）

4	福島県立南会津高等学校校章 (2022)
5	会津美里町立本郷学園校章 (2023)
[ 社会的活動 ]	
1	会津若松市「あいづまちなかアートプロジェクト」 展示アドバイザー (2015～2021)、広報物デザイン (2016～2022)
2	第4回「民家の甲子園」福島大会～町並みフォトコンテスト 審査員 (2015)
3	「パソコン甲子園」いちまいの絵CG部門 審査委員 (2019～2023)
4	福島県屋外広告物審議会 委員 (2020～)
5	税に関する絵はがきコンクール選考会 審査委員長 (2021～)
6	「パソコン甲子園」ポスタービジュアルコンテスト 審査委員 (2024～)

## 食物栄養学科 教授 博士（医学）

ヒダリ カズヤ

左 一八

○所属学会・協会 / 日本生化学会、日本薬学会、日本糖質学会、日本脂質生化学会、日本ウイルス学会、  
日本熱帯医学会、日中医学協会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：生化学、糖鎖生物学、ウイルス学

これまでの研究

- 1 糖鎖の構造と機能に関する研究
- 2 糖鎖認識による病態機構の解明と創薬・診断薬への応用
- 3 ウイルスの宿主感染・増殖機構の解明と創薬への応用

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 糖鎖認識に基づく病態機構の解明と診断薬の開発  
単クローン抗体を利用した特異的糖鎖検出系の確立およびそれを用いた病態解明と診断薬開発
- 2 ウイルスの宿主認識機構の解明と創薬への応用  
単クローン抗体を利用したウイルス宿主認識にかかわる糖質分子の同定と創薬リードの創出
- 3 地域伝統食材に含まれる機能性成分の調査・分析、レシピ開発と給食メニューへの展開  
免疫生化学的手法を利用した食品中の希少糖分析法の確立

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 糖質の機能性研究
- 2 ウイルス感染症関連研究
- 3 抗糖鎖抗体を利用した基礎医学研究
- 4 食品に含まれる生体機能に影響を及ぼす糖質の汎用的検出法の開発研究
- 5 伝統食材の機能性成分を活用したメニュー開発研究

キーワード：糖質、糖鎖、シアル酸、ウイルス感染、抗糖鎖単クローン抗体、機能性食品、地域伝統食材

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 著書 ]	
1	化学療法の領域 「蚊媒介性ウイルス感染症理解の最前線」 フラビウイルス感染症に対する治療薬研究最前線（医薬ジャーナル社） 33巻、第8号、pp. 132-138 (2017)
2	化学療法の領域 「飛躍的に発展を見せる抗ウイルス薬」 抗 Dengue ウイルス薬開発の現状（医薬ジャーナル社） 33巻、第1号、pp. 89-95 (2017)
3	Sia $\alpha$ 2-3含有糖鎖の免疫学的検出 和光純薬時報 80巻、第1号、pp. 2-4 (2013)
4	Dengue ウイルス感染に関わる糖鎖分子の構造と機能 生化学 82巻、第8号、pp. 751-755 (2010)
5	クロモグリク酸ナトリウム (DSCG) の新たな知見—抗インフルエンザ作用—、新薬と臨床（医薬情報研究所） 54巻、第1号、pp. 2-9 (2005)
6	クロモグリク酸ナトリウムの有する抗インフルエンザウイルス作用、アレルギー科「感染症と皮膚疾患」（科学評論社） 18巻、第4号、pp. 330-336 (2004)
7	細胞間認識に関与する機能的複合糖質分子に関する研究、薬学雑誌（日本薬学会） 123巻、第5号、pp. 315-322 (2003)
8	病原性微生物に対する新しい糖鎖性医薬品の登場 Trend in Glycosci. Glycotech. (TIGG) 15巻、p. 81 (2003)
9	内分泌・代謝—ポリAシグナル、看護大辞典（医学書院） pp. 2552 (2002)
10	CD162 (P-selectin glycoprotein ligand-1 (PSGL-1))、免疫学辞典第2版（東京化学同人） (2001)
11	CD162 [P-selectin glycoprotein ligand-1 (PSGL-1)]、臨床免疫（科学評論社） 34巻、pp. 393-397 (2000)
12	生物化学実験法35巻「ガングリオシド研究法I、II」（学会出版センター） pp. 185-193 (1996)
13	Molecular mechanisms for diversity of ganglioside sugar chains: cDNA cloning and cellular expression of $\beta$ 1-4N-acetylgalactosaminyltransferase. RIKEN Review 8, 31-32 (1995)
[ 論文 ]	
1	Optimization of the conditions for the immobilization of glycopolypeptides on hydrophobic silica particulates and simple purification of lectin using glycopolypeptide-immobilized particulates. Carbohydr Res. 519, 108624 (2022)
2	Anti-viral activity of culinary and medicinal mushroom extracts against dengue virus serotype 2: an in-vitro study. BMC Complementary and Alternative Medicine 19:260 (2019) <a href="https://doi.org/10.1186/s12906-019-2629-y">https://doi.org/10.1186/s12906-019-2629-y</a>
3	Application of Novel Sialoglyco Particulates Enhances the Detection Sensitivity of the Equine Influenza Virus by Real-Time Reverse Transcriptase Polymerase Chain Reaction. ACS Appl. Bio Mater. 2(3), 1255-1261 (2019)
4	Chemical synthesis of 4-azido- $\beta$ -galactosamine derivatives for inhibitors of N-acetyl galactosamine 4-sulfate 6-O-sulfotransferase. Glycoconjugate Journal, 35(5), 477-491 (2018)

5	Chemoenzymatic synthesis and characterization of N-glycolylneuraminic acid-carrying sialoglycopolypeptides as effective inhibitors against equine influenza virus hemagglutination. <i>Biosci. Biotech. Biochem.</i> 81(8), 1520–1528 (2017)
6	Synthesis of p-methoxyphenyl sulfated $\beta$ -GalNAc derivatives with inhibitory activity against Japanese encephalitis virus. <i>Pure Appl. Chem.</i> 89, 1251–1266 (2017)
7	Isolation and characterization of monoclonal antibodies specific for chondroitin sulfate E. <i>Glycobiology</i> , 25(9), 953–962 (2015)
8	Facile Synthesis of Sulfated Sialoglycopolypeptides with a $\gamma$ -Polyglutamic Acid Backbone as Hemagglutinin Inhibitors against Influenza Virus. <i>J. Appl. Glycosci.</i> , 61, 1–7 (2014)
9	Measurement of aberrant glycosylation of prostate specific antigen can improve specificity in early detection of prostate cancer. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 448, 390–396 (2014)
10	Computational design of a sulfoglucuronide derivative fitting into a hydrophobic pocket of dengue virus E protein. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 449, 32–37 (2014)
11	Influenza virus utilizes N-linked sialoglycans as receptors in A549 cells. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 436, 394–399 (2013)
12	Improvement of Depression-Like Behavior and Memory Impairment with the Ethanol Extract of <i>Pleurotus eryngii</i> in Ovariectomized Rats. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 36, 1990–1995 (2013)
13	Carbohydrate-Related Inhibitors of Dengue Virus Entry. <i>Viruses</i> 5, 605–618 (2013)
14	3-O-sulfated glucuronide derivative as a potential anti-dengue virus agent. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 424, 573–578 (2012)
15	Design and Synthesis of a Novel Ganglioside Ligand for Influenza A Viruses. <i>Molecules</i> 17, 9590–9602 (2012)
16	Cold-shock Protein Expression System Facilitates the Solubility of Human ST6Gal I in <i>Escherichia Coli</i> . <i>Open Glycosci.</i> 5, 13–18 (2012)
17	No evidence of horizontal infection in horses kept in close contact with dogs experimentally infected with canine influenza A virus (H3N8). <i>Acta Vet. Scand.</i> 54, 25 (2012)
18	Dengue virus type 2 recognizes the carbohydrate moiety of neutral glycosphingolipids in mammalian and mosquito cells. <i>Microbiol. Immunol.</i> 55, 135–140 (2011)
19	Dengue virus receptor. <i>Trop. Med. Health.</i> 39, 37–43 (2011)
20	Antiviral agents targeting glycans on dengue virus E-glycoprotein. <i>Expert Rev. Anti Infect. Ther.</i> 9(11), 983–985 (2011)
21	Unique heparan sulfate from shrimp heads exhibits a strong inhibitory effect on infections by dengue virus and Japanese encephalitis virus. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 412(1), 136–142 (2011)
22	Distribution of Influenza Virus Sialoreceptors on Upper and Lower Respiratory Tract in Horses and Dogs. <i>J. Med. Vet. Sci.</i> 73, 125–127 (2011)
23	Antiviral activity of chondroitin sulphate E targeting dengue virus envelope protein. <i>Antiviral Res.</i> 88, 236–243 (2010)
24	Infectivity and pathogenicity of canine H3N8 influenza A virus in horses. <i>Influenza Other Respi. Viruses</i> 4, 345–351 (2010)
25	Glycan receptor for influenza virus. <i>Open Antimicrobial Agents J.</i> 2, 26–33 (2010)
26	Structure and function of glycoconjugates involved in dengue virus infection. <i>Seikagaku</i> 82, 751–755 (2010)

27	Identification and characterization of flavonoids as sialyltransferase inhibitors. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 382, 609–613 (2009)
28	Chemoenzymatic synthesis of sialoglycopolypeptides as glycomimetics to block infection by avian and human influenza viruses. <i>Bioconjugate Chem.</i> 20, 538–549 (2009)
29	Molecular design of spacer-N-linked sialoglycopolypeptide as polymeric inhibitors against influenza virus infection. <i>Biomacromolecules</i> 10, 1894–1903 (2009)
30	Systematic syntheses of influenza neuraminidase inhibitors: A series of carbosilane dendrimers uniformly functionalized with thioglycoside-type sialic acid moieties <i>Bioorg. Med. Chem.</i> 17, 5451–5464 (2009)
31	Chemoenzymatic synthesis, characterization, and application of glycopolymers carrying lactosamine repeats as entry inhibitors against influenza virus infection. <i>Glycobiology</i> 18, 779–788 (2008)
32	Structure and anti-dengue virus activity of sulfated polysaccharide from a marine alga. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 376, 91–95 (2008)
33	Sulfatide is required for efficient replication of influenza A virus. <i>J. Virol.</i> 82, 5940–5950 (2008)
34	Clarithromycin Inhibits Progeny Virus Production from Human Influenza Virus-Infected Host Cells. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 31, 217–222 (2008)
35	In Vitro Inhibition of Human Influenza A Virus Infection by Fruit-Juice Concentrate of Japanese Plum ( <i>Prunus mume</i> SIEB. et ZUCC). <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 31, 511–515 (2008)
36	Binding kinetics of influenza viruses to sialic acid-containing carbohydrates. <i>Glycoconjugate J.</i> 24, 583–590 (2007)
37	Slow diffusion of lactose out of Galectin-3 crystals monitored by X-ray crystallography: possible implications for ligand-exchange protocols. <i>Acta Cryst. Section D</i> 63, 415–419 (2007)
38	The New Role of Disodium Cromoglycate in the Treatment of Adults with Bronchial Asthma. <i>Allergology International</i> 56, 231–239 (2007)
39	The quail and chicken intestine have sialyl-galactose sugar chains responsible for the binding of influenza A viruses to human type receptors. <i>Glycobiology</i> 17, 713–724 (2007)
40	Novel linear polymers bearing thiosialosides as pendant-type epitopes for influenza neuraminidase inhibitors. <i>Bioorg. Med. Chem. Lett.</i> 17, 3826–3830 (2007)
41	Thiosialoside clusters using carbosilane dendrimer core scaffolds as a new class of influenza neuraminidase inhibitors. <i>Bioorg. Med. Chem. Lett.</i> 17, 717–721 (2007)
42	Lactotriose-containing carbosilane dendrimers: Syntheses and lectin-binding activities. <i>Bioorg. Med. Chem.</i> 15, 1606–1614 (2007)
43	Chemoenzymatic synthesis of artificial glycopolypeptides containing multivalent sialyloligosaccharides with a $\gamma$ -polyglutamic acid backbone and their effect on inhibition of infection by influenza viruses. <i>Bioorg. Med. Chem.</i> 15, 1383–1393 (2007)
44	Suppression of the biosynthesis of cellular sphingolipids results in the inhibition of the maturation of influenza virus particles in MDCK cells. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 29, 1575–1579 (2006)
45	Identification and characterization of carbohydrate molecules in mammalian cells recognized by dengue virus type 2. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 139, 607–614 (2006)
46	Edible bird's nest extract inhibits influenza virus infection. <i>Antiviral Res.</i> 70, 140–146 (2006)
47	Human trachea primary epithelial cells express both sialyl-2,3 Gal receptor for human parainfluenza virus type 1 and avian influenza viruses, and sialyl-2,6 Gal receptor for human influenza viruses. <i>Glycoconjugate J.</i> 23, 101–106 (2006)

48	Purification and characterization of a soluble recombinant human ST6Gal I functionally expressed in <i>Escherichia coli</i> . <i>Glycoconjugate J.</i> 22, 1-11 (2005)
49	Sialidase activity of influenza A virus in an endocytic pathway enhances viral replication. <i>J. Virol.</i> 79, 11705-11715 (2005)
50	In Vitro and In Vivo Inhibitory Effects of Disodium Cromoglycate on Influenza Virus Infection. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 27, 825-830 (2004)
51	Evolutional analysis of influenza A virus N2 neuraminidase genes based on the transition of the low-pH stability of sialidase activity. <i>FEBS Lett.</i> 557, 228-232 (2004)
52	Identification of glycosphingolipid receptors for pierisin-1, a guanine-specific ADP-ribosylating toxin from the cabbage butterfly. <i>J. Biol. Chem.</i> 278, 9972-9978 (2003)
53	Inhibition of influenza A virus sialidase activity by sulfatide. <i>FEBS Lett.</i> 553, 355-359 (2003)
54	A molecular mechanism for the low-pH stability of sialidase activity of influenza A virus N2 neuraminidases. <i>FEBS Lett.</i> 543, 71-75 (2003)
55	Chemoenzymatic synthesis and application of glycopolymers containing multivalent sialyloligosaccharides with a poly(L-glutamic acid) backbone for inhibition of infection by influenza viruses. <i>Glycobiology</i> 13, 315-326 (2003)
56	An O-glycoside of sialic acid derivative that inhibits both hemagglutinin and sialidase activities of influenza viruses. <i>Glycobiology</i> 12, 183-190 (2002)
57	Engagement of endogenous ganglioside GM1a induces tyrosine phosphorylation involved in neuron-like differentiation of PC12 cells. <i>Glycobiology</i> 11, 335-343 (2001)
58	Inhibition of human parainfluenza virus type 1 sialidase by analogs of 2-deoxy-2,3-dihydro-N-acetylneuraminic acid. <i>Glycoconjugate J.</i> 18, 331-337 (2001)
59	A unique Phosphatidylinositol Bearing a Novel Branched-chain Fatty Acid from <i>Rhodococcus equi</i> Binds to Influenza Virus Hemagglutinin and Inhibits the Infection of Cells. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 130, 377-384 (2001)
60	Duck and human pandemic influenza A viruses retain sialidase activity in low pH conditions. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 130, 279-283 (2001)
61	Synthesis of 2-deoxy-2,3-didehydro-N-acetylneuraminic acid analogues modified at the C-4 and C-9 positions and their behaviour towards sialidase from influenza virus and pig liver membrane. <i>Carbohydr. Res.</i> 330, 31-41 (2001)
62	A Macrocyclic Sialic Acid Cluster as a Host, as an Adsorbant, and as a Ligand for Lectin and Virus. <i>Chemistry Letters</i> 28, 1259-1260 (1999)
63	Substitution of amino acid residue in influenza A virus hemagglutinin affects recognition of sialyloligosaccharides containing N-glycolylneuraminic acid. <i>FEBS Lett.</i> 464, 71-74 (1999)
64	Ganglioside GM1a on the cell surface is involved in the infection by human Rotavirus KUN and MO strain. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 126, 683-688 (1999)
65	Engagement of P-selectin Glycoprotein Ligand-1 Enhances Tyrosine Phosphorylation and Activates Mitogen-activated Protein Kinases in Human Neutrophils. <i>J. Biol. Chem.</i> 272, 28750-28756 (1997)
66	Complete removal of sphingolipids from the plasma membrane disrupts cell-substratum adhesion of mouse melanoma cells. <i>J. Biol. Chem.</i> 271, 14636-14641 (1996)
67	Expression cloning of a cDNA for human ceramide glucosyltransferase that catalyzes the first glycosylation step of glycosphingolipid synthesis. <i>Proc. Natl. Acad. Sci. USA</i> 93, 4638-4643 (1996)
68	Synthesis and Characterization of a Carbene-Generating Biotinylated Lactosylceramide Analog as a Novel Chromogenic Photoprobe for GM3 Synthase. <i>Chem. Pharm. Bull.</i> 44, 1111-1114 (1996)

69	Synthesis of a carbon-linked CMP-NANA analog and its inhibitory effects on GM3 and GD3 synthases. <i>Heterocycles</i> 43, 531-534 (1996)
70	A carbene-generating biotinylated lactosylceramide analog as novel photoreactive substrate for GM3 synthase. <i>Bioorg. Medicin.Chem. Lett.</i> 5, 2859-2862 (1995)
71	Occurrence of a novel fucose-containing pentaglycosylceramide with blood-group-B active determinant in <i>Xenopus blastula</i> cells: its possible involvement in cell-cell adhesion. <i>Biochem. J.</i> 306, 821-827 (1995)
72	$\beta$ 1-4N-Acetylgalactosaminyltransferase Can Synthesize Both Asialo-glycosphingolipid GM2 and Glycosphingolipid GM2 In Vitro and In Vivo: Isolation and Characterization of $\beta$ 1-4N-acetylgalactosaminyl transferase cDNA Clone from Rat Ascites Hepatoma Cell Line AH7974F. <i>Biochem. J.</i> 303, 957-966 (1994)
73	A Unique Biosynthetic Pathway for Gangliosides Exists in <i>Xenopus laevis</i> Oocytes. <i>FEBS Lett.</i> 353, 25-28 (1994)
74	Biosynthetic Pathway for A New Series of Gangliosides, GT1a $\alpha$ and GQ1b $\alpha$ . <i>FEBS Lett.</i> 351, 291-294 (1994)
75	In vitro Synthesis of Disialosylganglioside (GD1 $\alpha$ ) from Asialo-GM1 using sialyltransferases in rat liver Golgi vesicles. <i>Eur. J. Biochem.</i> 221, 603-609 (1994)
76	A novel ganglioside with free amino group in bovine brain. <i>Biochem. J.</i> 296, 259-263 (1993)
77	Isolation and Characterization of a Monosialosylgangliopentaosyl Ceramide from <i>Xenopus laevis</i> Oocyte. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 110, 412-416 (1991)
78	A New Monoclonal Antibody Directed to Sialyl $\alpha$ 2-3lactoneotetraosylceramide and Its Application for Detection of Human Gastrointestinal Neoplasmas. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 109, 354-360 (1991)
79	Involvement of the Acyl Chain of Ceramide in Carbohydrate Recognition by an Anti-Melanoma Antibody, M2590, to GM3-Ganglioside. <i>Glycoconjugate J.</i> 6, 551-560 (1989)
80	Altered Ganglioside Expression in ras-Oncogene-Transformed Cells. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 106, 34-37 (1989)
81	Aberant Expression of Ganglioside and Asialoglycosphingolipid Antigens in Adult T-cell Leukemia Cells. <i>Jpn. J. Cancer Res. (Gann)</i> 78, 1112-1120 (1987)
[ 特許 ]	
1	前立腺癌の検出に有用な単クローン抗体およびその抗体をコードする遺伝子 特許6444136号 (2018年12月7日登録)
2	前立腺癌と前立腺肥大を識別するための方法およびキット 特許6381033号 (2018年8月10日登録)、(国際出願番号PCT/JP2013/ 077495)
3	抗 Dengue ウイルス 剤 特許5777200号 (2015年7月17日登録)
4	フラボン誘導体の製造方法およびシアル酸転移酵素阻害剤 特許5424296号 (2013年12月6日登録)
5	新規なN結合型人工シアロ糖鎖含有ポリマーおよびその製造方法 特許5360497号 (2013年9月13日登録)、(国際出願番号PCT/JP2008/061429)
6	ウイルスレセプター糖鎖認識特異性の判別方法 特許5130598号 (2012年11月16日登録) (国際出願番号PCT/JP2006/316928)
7	新規糖鎖担持カルボシラン dendrimer およびその製造法、並びに Dengue 熱ウイルス感染阻害剤、抗ウイルス剤及び抗 HIV 剤のスクリーニング用標的物質 特許4666941号 (2011年1月21日登録)

[ 社会的活動 ]

1 会津若松市環境審議会会長

2 会津若松市環境大賞選考委員

## 食物栄養学科 教授 博士（理学）

ウルシ タ ニ

ヒ ロ シ

## 漆谷 博志

○所属学会・協会 / 日本内分泌攪乱物質学会、日本比較内分泌学会、環境DNA学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：比較内分泌学、内分泌学

これまでの研究

- 1 内分泌学攪乱化学物質による魚類などへの影響に関する研究
- 2 有機スズ類による軟体動物腹足類の生殖器官などに対する影響に関する研究
- 3 ホルモン受容体を用いた内分泌攪乱化学物質によるホルモン作用の検討に関する研究
- 4 環境DNA分析法を用いた福島県における特定外来生物（ウチダザリガニ）の生息分布調査

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 海産巻貝のホルモン受容体を用いた化学物質による影響検討に関する研究  
海産巻貝のイボニシより単離した様々なホルモン受容体を用いた化学物質影響の評価系開発
- 2 海産巻貝を用いた東日本震災による影響に関する研究  
海産巻貝のイボニシを用いた震災影響による生態系影響の評価（共同研究）
- 3 裏磐梯・猪苗代水系などにおける環境DNA技術を用いた外来種分布調査  
裏磐梯・猪苗代水系などにおいて、ウチダザリガニの分布を環境DNA技術などを用い調査する

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 内分泌
- 2 一般生物
- 3 内分泌攪乱化学物質
- 4 性ホルモン
- 5 魚類
- 6 軟体動物（貝類）
- 7 環境DNA

キーワード：内分泌、内分泌攪乱化学物質、性ホルモン、水生動物、環境DNA

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 ステップアップ食品衛生学（自然毒・化学物質による食中毒）,化学同人, p.79-104, 2023

[ 論文 ]

- 1 猪苗代湖・裏磐梯周辺水系における水棲生物生息調査ならびにメダカの遺伝学的解析, 会津大学短期大学部研究紀要 第80号, p.65-72, 2023
- 2 N-terminal domain regulates steroid activation of elephant shark glucocorticoid and mineralocorticoid receptors. The Journal of steroid biochemistry and molecular biology 210, 105845, 2021
- 3 Characterization and comparison of transcriptional activities of the retinoid X receptors by various organotin compounds in three prosobranch gastropods; *Thais clavigera*, *Nucella lapillus* and *Babylonia japonica*. Aquatic toxicology 199, 103-115. 2018
- 4 Development of reproductive organs in the ivory shell *Babylonia japonica*: Observations from wild populations and laboratory-reared juveniles. Marine Environmental Research 93, 4-14. 2014
- 5 Cloning and characterization of the retinoic acid receptor-like protein in the rock shell, *Thais clavigera*. Aquatic toxicology 142-143, 403-413. 2013
- 6 Structure of the intratesticular duct system for sperm emission in the starspotted smooth-hound *Mustelus manazo*. Fisheries Science 79 (2), 203-211. 2013
- 7 Molecular cloning and characterization of the corticoid receptors from the American alligator. Molecular and Cellular Endocrinology 365 (2), 153-61. 2013
- 8 Cloning, expression and functional characterization of carp, *Cyprinus carpio*, estrogen receptors and their differential activations by estrogens. Journal of Applied Toxicology 33 (1), 41-49. 2013
- 9 Vas deferens and penis development in the imposex-exhibiting female rock shell, *Thais clavigera*. Marine Environmental Research 76, 71-79. 2012
- 10 Comparative responsiveness to natural and synthetic estrogens of fish species commonly used in the laboratory and field monitoring. Aquatic Toxicology 109, 250-258. 2012
- 11 Cloning and characterization of retinoid X receptor (RXR) isoforms in the rock shell, *Thais clavigera*. Aquatic Toxicology 103 (1-2), 101-111. 2011
- 12 Molecular cloning of anti- Müllerian hormone from the American alligator, *Alligator mississippiensis*. Molecular and Cellular Endocrinology 333 (2), 190-199. 2011
- 13 Cloning and functional characterization of Chondrichthyes, cloudy catshark, *Scyliorhinus torazame* and whale shark, *Rhincodon typus* estrogen receptors. General and Comparative Endocrinology 168 (3), 496-504. 2010
- 14 Molecular cloning and characterization of ligand- and species-specificity of amphibian estrogen receptors. General and Comparative Endocrinology 168 (2), 220-230. 2010
- 15 Potential Contributions of Heat Shock Proteins to Temperature-Dependent Sex Determination in the American Alligator. Sexual Development 4 (1-2), 73-87. 2010
- 16 Establishment of a polyclonal antibody against the retinoid X receptor of the rock shell *Thais clavigera* and its application to rock shell tissues for imposex research. Ecotoxicology 19 (3), 571-6. 2010

17	Estrogen-Dependent Transactivation of Amphioxus Steroid Hormone Receptor via Both Estrogen and Androgen Response Elements. <i>Endocrinology</i> 151 (2), 639-648. 2010
18	Environmental health impacts of equine estrogens derived from hormone replacement therapy. <i>Environmental Science &amp; Technology</i> 43 (10), 3897-904. 2009
19	Sexual Reprogramming and Estrogenic Sensitization in Wild Fish Exposed to Ethinylestradiol. <i>Environmental Science &amp; Technology</i> 43 (4), 1219-1225. 2009
20	In vitro assessment of transcriptional activation of the estrogen and androgen receptors of mosquitofish, <i>Gambusia affinis affinis</i> . <i>Molecular and Cellular Endocrinology</i> 276 (1-2), 10-17. 2007
21	Comparison of estrogen responsive genes in the mouse uterus, vagina and mammary gland. <i>Journal of Veterinary Medical Science</i> 69 (7), 725-731. 2007
22	Functional associations between two estrogen receptors, environmental estrogens, and sexual disruption in the roach ( <i>Rutilus rutilus</i> ). <i>Environmental Science &amp; Technology</i> 41 (9), 3368-3374. 2007
23	Gene expression change in the Müllerian duct of the mouse fetus exposed to diethylstilbestrol in utero. <i>Experimental Biology and Medicine</i> 232 (4), 503-514. 2007
24	Developmental reproductive effects of exposure to pharmaceutical steroids in the aquatic environment: Studies on mosquitofish ( <i>Gambusia affinis affinis</i> ), roach ( <i>Rutilus rutilus</i> ) and medaka ( <i>Oryzias latipes</i> ). <i>Journal of Marine Science and Technology-Taiwan</i> 15, 29-36. 2007
25	Medaka ( <i>Oryzias latipes</i> ) for use in evaluating developmental effects of endocrine active chemicals with special reference to gonadal intersex (testis-ova). <i>Environmental Sciences: an international journal of environmental physiology and toxicology</i> . 14 (5), 211-233. 2007
26	Molecular cloning of estrogen receptor alpha (ERalpha; ESR1) of the Japanese giant salamander, <i>Andrias japonicus</i> . <i>Molecular and Cellular Endocrinology</i> 257-8, 84-94. 2006
27	Development of metamorphosis assay using <i>Silurana tropicalis</i> for the detection of thyroid system-disrupting chemicals. <i>Ecotoxicology and Environmental Safety</i> 64 (3), 281-7. 2006
28	All ZZ male <i>Xenopus laevis</i> provides a clear sex-reversal test for feminizing endocrine disruptors. <i>Ecotoxicology and Environmental Safety</i> 63 (2), 236-243. 2006
29	Availability of in vitro vitellogenin assay for screening of estrogenic and anti-estrogenic activities of environmental chemicals. <i>Environmental Sciences: an international journal of environmental physiology and toxicology</i> . 13 (3), 161-183. 2006
30	Effects of an androgenic growth promoter 17beta-trenbolone on masculinization of Mosquitofish ( <i>Gambusia affinis affinis</i> ). <i>General and Comparative Endocrinology</i> 143 (2), 151-160. 2005
31	Cloning and characterization of estrogen receptor alpha in mummichog, <i>Fundulus heteroclitus</i> . <i>Molecular and Cellular Endocrinology</i> 203 (1-2), 41-50. 2003
32	Early estrogen exposure induces abnormal development of <i>Fundulus heteroclitus</i> . <i>Journal of Experimental Zoology</i> 293 (7), 693-702. 2002
33	Development and application of an effective detection method for fish plasma vitellogenin induced by environmental estrogens. <i>Bioscience Biotechnology and Biochemistry</i> 62 (6), 1196-1200. 1998
34	Apoptosis in adult mouse testis induced by experimental cryptorchidism. <i>Acta Anatomica</i> 157, (3), 195-204. 1996

## 食物栄養学科 准教授 博士（林学）

タ ケ イ ト シ ュ キ  
武井 利之

○所属学会・協会 / 日本木材学会、日本農芸化学会、日本応用糖質科学会、日本きのこ学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 糖化学、林産化学、食品機能

これまでの研究

- 1 植物及びきのこ類の細胞壁構成多糖類に関する研究
- 2 FT-IRスペクトルを用いた木材及び和紙の非破壊分析に関する研究
- 3 地域農林産物のがん細胞増殖抑制成分に関する研究
- 4 きのこ及び竹の放射性物質の吸収抑制に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 地域農林産物の成分科学的特徴の解明

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 農林産物の低分子成分とその分析方法
- 2 農林産物の食物繊維及び関連糖質の分析方法

キ ー ワ ー ド : ペクチン、ヘミセルロース、オリゴ糖、がん細胞、アポトーシス誘導、放射性セシウム

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 論文 ]

- 1 福島県のきのこ生産現場における放射性物質の影響と対策、日本きのこ学会誌、Vol.20, 165-170、2012
- 2 異なる条件で栽培したナメコ子実体のラジカル消去能、日本きのこ学会誌、Vol.18, 67-71、2010
- 3 きのこの有用成分、FOOD & FOOD INGREDIENTS JOURNAL OF JAPAN、Vol.211, No.2, 117-123、2006
- 4  $5\alpha,8\alpha$ -Epidioxy-22E-ergosta-6,9(11),22-trien-3 $\beta$ -ol from an Edible Mushroom Suppresses Growth of HL60 Leukemia and HT29 Colon Adenocarcinoma Cells, Biol. Pharm. Bull.29(4)755-759, 2006

5	Ergosterol Peroxide, an Apoptosis-Inducing Component Isolated from <i>Sarcodon aspratus</i> (Berk.) S Ito, Biosci. Biotechnol. Biochem.69, 212-215, 2005
6	FT-IR法を用いた和紙の非破壊測定、文化財保存修復学会誌、Vol.47, 71-75、2003
7	FT-IR法を用いた木質保存箱の劣化解析、文化財保存修復学会誌、Vol.47, 65-70、2003
8	ニガウリのがん細胞アポトーシス誘導効果、日本食品科学工学会誌、第49巻,250-256、2002
9	人為的障害に由来するカラマツ材部の劣化、東北森林科学会誌、第7号,20-22、2002
10	ヒメマツタケCJ-01の菌糸成長に及ぼす因子、木材学会誌、Vol.47, 63-69、2001
11	FT-IR法による法隆寺古材の劣化の解析、木材学会誌、Vol.41, 1012-1016、1997
12	オヒルギ胎生種子の細胞壁構成多糖類、マングローブサイエンス、Vol.1, 43-50、1996
13	オヒルギ胎生種子細胞壁調整過程で得られたガラクチュロナン、木材学会誌、Vol.41, 1012-1016、1995
14	オヒルギ葉肉組織からのプロトプラスト調製、木材学会誌、Vol.41, 932-937、1995
15	ラマン散乱スペクトルによる木材とタケのリグニン解析、木材学会誌、Vol.41, 229-236、1995
16	マングローブ樹種の化学成分特性（第5報）、木材学会誌、Vol.40, 868-873、1994
[ 社会的活動 ]	
1	日本きのこ学会評議員
2	日本応用糖質学会東北支部理事
3	日本木材学会「放射性物質の木材への影響に関する調査・研究ワーキンググループ」委員（2012年6月まで）

## 食物栄養学科 准教授 修士（栄養学）

カ ト ウ マ コ ト

## 加藤 亮

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会、日本公衆衛生学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 栄養指導、栄養教育、公衆栄養学

これまでの研究

- 1 地域における栄養教育プログラムの開発
- 2 個別栄養指導のシステム化、効率化に関する研究
- 3 産後の母親のやせ願望と健康観に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 栄養教育ツールの開発  
ICタグとフードモデルを組み合わせた栄養指導ツールの開発、評価
- 2 地域における新しい保健プログラムの開発  
身体活動と食事を組み合わせたプログラムの開発、評価

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 生活習慣病予防
- 2 栄養教育、栄養指導
- 3 地域保健事業の評価
- 4 身体活動量の評価

キ ー ワ ー ド : 栄養指導、栄養教育、栄養教育ツール、予防、身体活動量

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 『公衆栄養学に必要な統計』  
(公衆栄養学(分担執筆) NEXT栄養科学シリーズ講談社サイエンティフィク 2004・2005年)
- 2 『特集日本人の食事摂取基準(2005年版) 高齢者』(臨床栄養Vol.106 No.1(分担執筆) 医歯薬出版 2005年)

## [ 論文 ]

- 1 ICタグ付きフードモデルを用いた食事調査の妥当性（会津大学短期大学部研究紀要 2024年）
- 2 こどもの身体活動量をふやすためにはどうしたらよいか 日常生活における身体活動量の  
日内変動について（会津大学短期大学部研究紀要 2021年）
- 3 勤労者（男性）における職場業務内容と体組成、栄養素摂取量、身体活動量の関係について  
（会津大学短期大学部研究紀要 2019年）

食物栄養学科 准教授 修士（スポーツ科学）

ヨ コ タ ユ カ リ  
横田 由香里

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本スポーツ栄養学会

日本臨床スポーツ医学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：スポーツ栄養学、栄養教育、栄養管理

これまでの研究

- 1 アスリートの栄養教育に関する研究
- 2 アスリートの栄養学的基礎研究（エネルギー・たんぱく質）
- 3 アスリートおよび高齢者の栄養管理に関する研究
- 4 アスリートおよび高齢者に向けた料理レシピの考案
- 5 大学生の食生活に関する研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 アスリートを対象としたコンディション管理ソフトを使った栄養教育の効果について
- 2 アスリート（ジュニアアスリートを含む）の栄養教育および栄養管理
- 3 スポーツ活動を行う人に向けたスポーツ栄養情報の発信

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 スポーツ時の栄養補給に関する研究
- 2 アスリートや健康の維持・増進を目指す人に対する栄養教育に関する研究
- 3 アスリートの栄養管理に関する研究
- 4 アスリートや健康の維持・増進を目指す人に対する料理レシピの提案
- 5 アスリートおよび高齢者のたんぱく質量に関する研究

キーワード：スポーツ栄養、栄養教育、栄養管理、たんぱく質、アスリート、高齢者

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 トップアスリートのストレスとコンディショニング、体育の科学、第58巻、6号、pp.382-388（2008）
- 2 ジュニアからトップレベルの食事管理の実際 各国のトップアスリートに対する栄養サポートに関する報告、臨床スポーツ医学、第25巻、8号、pp.903-909（2008）
- 3 市民からアスリートまでのスポーツ栄養学、八千代出版、pp.87-94、 pp.123-130（2011）
- 4 JISS国立スポーツ科学センターのアスリートレシピ、日本のトップアスリートを支えるバランスごはん115、主婦と生活社、pp.1-95（2012）
- 5 スポーツ指導者・体育系学生のためのスポーツ栄養学、市村出版、pp.198-213（2014）
- 6 健康食品・サプリメントの話題 アスリートの栄養管理（サプリメントを中心に）、診断と治療、第109巻、8号、pp.1153-1157（2021）

[ 論文 ]

- 1 スポーツ選手の栄養調査・サポート基準値策定及び評価に関するプロジェクト報告、栄養学雑誌、第64巻、3号、205-208（2006）
- 2 Effects of rapid or slow body mass reduction on body composition in adult rats. Journal of Clinical Biochemical Nutrition Vol.45, 185-192(2009)
- 3 Differential effects of rapid and slow body mass reduction on body composition during an equivalent weight loss in rats. Obesity Research & Clinical Practice Vol.4, e91-e100(2010)
- 4 Effects of short-term refeeding after rapid or slow body mass reduction on body composition in adult rats. Obesity Research & Clinical Practice Vol.4, e191—e199(2010)
- 5 エリート競技者の高い基礎代謝量は身体組成に起因する、体力科学、第61巻、第4号、427-433（2012）
- 6 Basal metabolic rate and body composition of elite Japanese male athletes. The Journal of Medical Investigation Vol.59, 252-260(2012)
- 7 大学生も早寝・早起き・朝ご飯～大学生の食生活と学業成績の関連～、スポーツ医療研究、第9巻、7-14（2017）
- 8 スポーツ系学科におけるスポーツ指導者・健康運動指導者などの資格や教員免許の取得に対する意識調査、スポーツ医療研究、第9巻、15-34（2017）
- 9 スポーツ指導者や健康運動指導者に関する資格や教員免許の取得に対する1年間の意識調査—T大学スポーツ医療学科の学生を対象とした春期から秋期にかけての意識変化、スポーツ医療研究、第10巻、31-58（2018）
- 10 2017年ボディコンディショニング教室開催報告、スポーツ医療研究、第11巻、19-30（2019）
- 11 ジュニアアスリートのサプリメント利用、スポーツ医療研究、第12巻、37-40（2020）
- 12 T大学スポーツ医療学科の学生を対象としたスポーツ指導者、健康運動指導者などに関する資格や教員免許の取得に対する2年間の意識調査、スポーツ医療研究、第12巻、47-65（2020）

13	2018年度帝京大学・八王子市健康づくり教室開催報告、スポーツ医療研究、第12巻, 85-88 (2020)
14	女性アスリートの栄養問題、スポーツ医療研究、第13巻, 59-62 (2021)
15	スポーツ・健康運動指導者などの資格や教員免許の取得意識と知識に関する調査—T大学スポーツ医療学科の学生を対象とした3年間の追跡調査、スポーツ医療研究、第13巻, 19-35 (2021)
16	デフテニス日本代表選手に対する視覚教材を用いた栄養教育プログラムの実践報告、スポーツ医療研究、第15巻, 1-58(2023)
17	ふりかえりとフィードバックを用いた栄養教育、スポーツ医療研究、第16巻, 17-20 (2024)
18	2022年度帝京大学教育改善等改革プログラム開発支援制度による活動報告～スポーツ医療学科応用演習から発信するスポーツを通した子ども向け健康教育～、スポーツ医療研究、第16巻, 35-42 (2024)
19	2021年度帝京大学・八王子市健康づくり教室開催報告、スポーツ医療研究、第16巻, 59-63 (2024)
[ プロシーディング ]	
1	特別養護老人ホーム入居者の栄養状態のアセスメント—低栄養とADLの関係、第49回日本栄養改善学会学術総会講演集 p.144 (2002)
2	Protein Pulse Feeding May Not Stimulate Skeletal Muscle Growth in Young Rats. Experimental Biology 2005, Washington D.C, USA, No.LB218(2005)
3	Resistance Exercise May Not Affect Skeletal Muscle Growth In Young, Protein-Pulse-Fed Rats, xperimental Biology 2005, Washington D.C, USA, No.587.3(2005)
4	Rapid Body Mass Reduction May Not Be Associated With Greater Muscle Mass Decrease But Digestive Tract Decrease In Rats. Experimental Biology 2005, Washington D.C, USA, No.66.3(2005)
5	急速減量と緩徐減量が再給餌後のラットの体組成に及ぼす影響、第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 p.80 (2006)
6	濃度の異なるショ糖溶液が運動後のラットの体水分とグリコーゲンの回復に及ぼす影響、第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 p.86 (2006)
7	溶液のショ糖濃度が運動時のラットの自発的飲用量及び生理的変化に及ぼす影響、第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 p.87 (2006)
8	第20回オリンピック冬季競技大会 (2006/トリノ) における日本代表選手団のコンディショニングに関するアンケート調査 栄養面からの検討、体力科学、第56巻、6号、p.879 (2007)
9	第15回アジア競技大会 (2006/ドーハ) における日本代表選手団のコンディショニングに関するアンケート調査—栄養面からの検討—、2008年日本スポーツ栄養研究会学術集会抄録 p68 (2008)
10	栄養指導を受けた経験と食事に対する意識・知識との関連 トップアスリートを対象とした「栄養・食事に関するアンケート調査」結果より、日本臨床スポーツ医学会誌、第16巻、4号、p.S166 (2008)
11	継続的な栄養評価システムの利用が日常の食生活に及ぼす効果 トップアスリートを対象とした事例的検討、日本臨床スポーツ医学会誌、第16巻、4号、p.S166 (2009)
12	増量を目的とした栄養サポートの一例 カヌートップ選手の場合、日本臨床スポーツ医学会誌、第17巻、4号、p.S137 (2009)
13	アスリート向けレストランの栄養管理に関する予備的検討 レストラン利用者の料理選択と食事摂取量、日本スポーツ栄養研究誌、第3巻、p.47 (2009)
14	Nitrogen balance adapts to changes in habitual protein intake within a few days in Japanese male athletes. Experimental Biology 2011, Washington D.C, USA, No.991.19.(2010)

15	競技者の体内鉄栄養状態評価と食事摂取量との関係、日本臨床スポーツ医学会誌、第18巻、4号、p.S180 (2010)
16	国立スポーツ科学センターにおける個別栄養相談の現状、日本臨床スポーツ医学会誌、第18巻、4号、p.S181 (2010)
17	運動後の高たんぱく質食はラットの運動による筋肥大を促進しない、第65回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集、p.17 (2011)
18	国立スポーツ科学センターを利用する選手の栄養素等摂取状況、日本臨床スポーツ医学会誌、第19巻、4号、p.S174 (2011)
19	競技特性の異なる選手の身体組成および基礎代謝量の比較、体力科学、第60巻、6号、p.S675 (2011)
20	スポーツ系学科におけるスポーツ指導者・健康運動指導者などの資格や教員免許の取得に対する意識調査 A 大学学生を対象として、日本体育学会第67回大会プログラム、p.199 (2016)
[ 社会的活動 ]	
1	喜多方市食育推進会議 委員

食物栄養学科 講師 準学士

ムロイ ヒロコ  
室井 弘子

○所属学会・協会 / 日本栄養士会 日本栄養改善学会 日本給食経営管理学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：給食経営管理 栄養士・管理栄養士人材育成

これまでの研究

- 1 大量調理におけるニュークックチルシステムの導入研究
- 2 セントラルキッチンとサテライトキッチンの連携
- 3 栄養士養成施設における科目間連携
- 4 臨床研修医と管理栄養士の連携について
- 5 栄養サポートチームにおけるフードサービスの重要性

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 少子化に伴う学生数の減少により、栄養士養成校における給食管理実習の授業構成のシステム変更
- 2 会津の食材を使ったヘルシーメニュー開発

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 給食経営管理
- 2 調理実習
- 3 食育（離乳食・乳幼児食）
- 4 メニュー開発
- 5 健康教育講演

キーワード：給食経営管理 人材育成 調理実習 健康教育

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 著書 ]	
1	すぐに使える栄養管理事例50 疾病別栄養管理計画書の作り方 平成21年7月 日本医療企画
2	チーム医療に必要な人間栄養の取り組み 平成24年5月 第一出版
3	介護予防のための高齢者のかたん手料理 平成18年7月 ヘルスケアレストラン 日本医療企画別冊
[ 論文 ]	
1	NCM（栄養ケアマネジメント）を推進するために 竹田総合病院医学雑誌Vol.32 2006.12. page86
2	私たちはこうして臨床栄養管理（ベッドサイドワーク）に参加した 当院におけるNCMの継続的品質改善の取り組み 栄養－評価と治療Vol.24 No.6
3	チーム医療の1スタッフになるために-調理師の立場から- 日本病院学会抄録集 Vol. 58th 2008年 ページ：ROMBUNNO.II-O-07-15-40
4	官能評価によるゼリー調整食品の特性比較 日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌2010 巻14 号：3 ページ：374
5	進行食道癌に対する化学放射線療法施行時における栄養療法の有用性に関する検討 日本静脈経腸学会 静脈経腸栄養（1344-4980）27巻1号 Page.406
6	透析患者（糖尿病性腎症1例を含む）における植物性乳酸菌飲料の飲用による排便への影響 日本糖尿病学会 糖尿病（0021-437X）55巻4号 Page.287
7	「はじめの一步」～笑顔を求めて816日間の記録～（業務改善における5Sの有効について）日本病院学会誌 巻：62nd page:290
8	ω3系脂肪酸含有経腸栄養剤の積極的な摂取により入院せずに終末期を過ごすことができた進行膵臓癌の一例 日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養（1344-4980）28巻1号Page.457
9	疼痛および低栄養に対して小腸瘻造設による栄養管理が有効であった慢性膵炎の一例 日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養（1344-4980）28巻1号Page.517
10	教育入院集団栄養指導におけるスケジュール見直しによる指導時間および理解度の変化 日本糖尿病学会 糖尿病（0021-437X）56巻3号 Page.192
11	管理栄養士による入院時介入ツールとしてMNA-Sfを使用した実態と効果 日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養（1344-4980）29巻1号 Page489（2014.01）
12	治療効果につながる栄養サポートの実践 感染による術後創し開をきたした1例 日本静脈経腸栄養学会 静脈経腸栄養（1344-4980）29巻1号 Page537（2014.01）
13	間食にカーボカウント法を用いセルフケア行動につなげる試み 小児Ⅰ型糖尿病の1症例 日本糖尿病学会 糖尿病（0021-437X）57巻2号 Page 131（2014. 02）
14	「顔の見える栄養科」 日本病院学会誌 巻：64th ページ：271
15	大腸裂孔術後の重症敗血症患者に対して、ペプタメンAFを用いた早期経腸栄養管理が有効であった1例 日本静脈経腸栄養学会雑誌（2189-0161）30巻1号 Page.417（2015. 01）
16	栄養サポートチームと褥瘡チームの連携によって栄養不良および褥瘡が改善した寝たきり高齢者の1例～「チームの連携」の重要性～ 日本静脈経腸栄養学会 日本静脈経腸栄養学会雑誌 Vol.30（2015）NO.4 pp.968～971

17	新たに開発した化学療法食〔味彩食〕の効果 食べる力を引き出すために 日本病院学会誌 巻：65th ページ：294
18	栄養指導患者への合併症予防への介入方法の検討 糖尿病 (Journal of the Japan Diabetic Society) 巻：58 号：5 ページ：359
19	フルニエ症候群で広範囲デブリードマン施行後の癌患者に対し、アバンドを使用した1例 日本静脈経腸栄養学会雑誌 (2189-0161) 31巻1号 Page603 (2016. 01)
20	デイケア施設への食事サービスの拡大 今年度の栄養科のチャレンジ 竹田総合病院医学雑誌Vol.42 2016 pp.66-67
21	糖尿病合併症予防のための栄養指導フローチャートを使用した取り組み 日本糖尿病学会誌 糖尿病 (0021-437X) 59巻第2号page126 (2016. 02)
22	腹痛および低栄養に対して腸瘻を用いた経腸栄養が有用であったアルコール性慢性膵炎の一例 日本静脈経腸栄養学会 日本静脈経腸栄養学会雑誌 Vol. 31 (2016) N0.3 pp855~858
23	病棟での臨床栄養学実践活動の未来 病棟管理栄養士の常駐にむけて 栄養のリスク低減をとoshi、患者さんを笑顔に！医師と管理栄養士の信頼をどのように構築してきたか？竹田総合病院の事例紹介 New Diet Therapy (0910-7258) 32巻2号 Page102 (2016. 09) 日本臨床栄養学会誌
24	栄養のリスクリダクションに向けて 医師と管理栄養士の信頼関係の構築のために実践してきたこと New Diet Therapy (0910-7258) 32巻2号 Page248 (2016. 09) 日本臨床栄養学会誌
25	カラー別性格タイプを取り入れた糖尿病教育入院の見直し 糖尿病 (0021-437X) 60巻4号 Page 326 (2017. 04)
26	脳卒中患者における絶食期間が栄養状態に及ぼす影響と経口摂取の可能性を高める要因の検討 日本静脈経腸栄養学会雑誌 (2189-0161) 32巻Suppl. Page537 (2017. 01)
27	下痢に対し、シンバイオティクス・L-グルタミン配合食品を使用することでの有用性の検討 竹田総合病院医学雑誌 (1347-0183) 43巻 Page71-72 (2017.11)
28	6年間の特定保健指導に取り組んで 身体計測値を比較して 竹田総合病院医学雑誌 (1347-0183) 43巻 Page70-71 (2017.11)
29	栄養部門の経営的視点での業務改善 新厨房への移転前後の年次比較 竹田総合病院医学雑誌 (1347-0183) 43巻 Page67-68 (2017.11)
30	チームで取り組んだ誤嚥性肺炎予防の取り組み 日本静脈経腸栄養学会雑誌 巻：32 号：2 ページ：SUP70(J-STAGE)
[ 社会的活動 ]	
1	竹田健康財団竹田総合病院CM部栄養科科长 (科長歴2002~2018年3月退職) 給食直営 NST発足
2	福島県病院給食研究会連合大会 会津地区病院給食研究会 事務局 (2002~2018年3月まで) 会津管内の23施設の病院給食についての研究・改善等に関する事務局担当
3	公益社団法人福島県栄養士会理事 (2007~2013年) 常任理事 (2013年~2016年) 監事 (2016~2022年) 理事 (2022~2024年)
4	福島県大沼郡昭和村業務委託事業 (2020~2021年) 昭和村保育所の食育活動および給食運営改善指導
5	福島県広報誌「ゆめだより」ヘルシーレシピメニュー監修
6	福島県保健衛生協会主催「親子で作るまごころ食育弁当コンクール」審査員
7	福島県食肉協同組合による「ミートデリカコンテスト」審査員

## 食物栄養学科 講師 修士（人間文化学）

ミズオ カズマサ  
水尾 和雅

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本調理科学会、日本家政学会、日本栄養改善学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：調理科学

これまでの研究

- 1 ガス加熱とIH加熱が大根への塩化ナトリウムの浸透およびテクスチャーへ及ぼす影響について
- 2 ベークドチーズケーキの性状と動的粘弾性挙動に及ぼす鶏卵の影響について
- 3 栄養士養成課程における1年次の学習と塩分感受性に関する考察

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 栄養士養成課程における1年次の学習と塩分感受性に関する考察  
概要：調理学実習で実施している塩分濃度差識別検査の結果を解析し、授業効果を検討する
- 2 酒米を搗精する際に出る白糠の一般的な焼成菓子類への応用について  
概要：白糠の特徴を活かした焼成菓子類の検討や特徴などを明らかとし、有効活用の方法を検討する

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 料理における「こつ」の科学
- 2 減塩料理の知識

キーワード：料理のこつ、調理科学、減塩、テクスチャー

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[論文]

- 1 大根の加熱および保存過程がコラーゲン、グリセリド、塩化ナトリウムの浸透および硬さに及ぼす影響（『日本調理科学会誌』44巻、2011年、共著）
- 2 大学教職員を対象とした栄養アセスメントに基づく給食経営管理実習の試み（『日本栄養士会雑誌』54巻、2011年、共著）
- 3 Effects cooking process with giner juice and kiwifruit juice on the collagen and the lipid contents of “Kakuni pork”(『日本調理科学会誌』44巻 2011, 共著)
- 4 食事摂取基準に示された「美味しく楽しく食べることのできる食事」を理解させるための給食経営管理領域における試み(『日本栄養士会雑誌』55巻 2012, 共著)

5	Lipid Distribution and Rheological Properties of Creamy Custard Pudding Prepared with EggYolk and Milk Fat Cream(『日本調理科学会誌』 45巻 2012, 共著)
6	豆腐と自然薯を用いた気泡含有製品の創成と嚥下困難者用食品への利用適性 (『日本調理科学会誌』 52巻(3), 176-181, 2019 共著)
7	栄養士養成課程における1年次の学習と塩味感受性の変容－塩分濃度差識別検査結果からの検討－ (『会津大学短期大学部 研究紀要』 第79号, 113－122, 2022 共著)
8	凍り豆腐の調理過程におけるタンパク質の溶出とテクスチャーの関係 (『比治山大学紀要』 第29号,2023 共著)
[ 社会的活動 ]	
1	福島県栄養士会 会津支部運営委員 (2022～2025まで)
2	日本調理科学会 東北・北海道支部役員 (2024～2025まで)

## 食物栄養学科 助手 学士

ア ベ ケ イ コ

## 阿部 桂子

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本調理科学会、日本有機農業学会、日本栄養士会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：食育、給食管理

これまでの研究

- 1 和食文化の理解と伝承を目的とした料理講座の試み
- 2 効果的な減塩普及の取り組みについて
- 3 会津伝統食材オタネニンジンや小菊かぼちゃを使用した機能性と嗜好性に優れたメニュー開発

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 和食文化伝承を目的とした料理講座実践の有用性
- 2 全国で広がるオーガニック給食についての研究  
給食を通じた地域づくりについて実践の試み
- 3 食品ロスと環境問題について
- 4 会津伝統食材を使用した機能性と嗜好性に優れたメニュー開発

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 食育活動
- 2 親子料理教室
- 3 オーガニック給食

キーワード：食育、親子料理教室、オーガニック給食、食品ロス

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書・報告書 ]

- 1 福島県・消費安全対策交付金（食育推進事業）事業実施報告（みんなの畑部,2025.2）

2	福島県ふるさとの農林漁業体験事業実施報告書（きたかた学校給食を考える会,2024.2）
3	喜多方市教育委員会共催・後援実施報告書（オーガニック食育交流会・オーガニック喜多方市産食材を活用した調理実習，オーガニック給食を現場から進めるための研修会）（きたかた学校給食を考える会,2023.8）
4	令和5年度喜多方市ふるさと創生事業補助金実績報告書・活動報告書（持続可能な農業と食を子どもたちへ・継続）（きたかた学校給食を考える会，2023.8）
5	令和4年度喜多方市ふるさと創生事業補助金実績報告書・活動報告書（持続可能な農業と食を子どもたちへ）（きたかた学校給食を考える会,2022.3）
[ 社会的活動 ]	
1	喜多方市食育推進委員会委員（2011年～2015年3月）
2	喜多方市勤労青少年ホーム運営委員会委員（2013年～2019年3月）
3	喜多方市学校給食推進会議委員（2023年度）
4	喜多方市環境審議会委員（2024年2月～現在）
5	きたかた学校給食を考える会（2023年度から喜多方市社会教育関係団体認定）（2021年度～2023年度）
6	みんなの畑部（2021年度～現在）



## 幼児教育・福祉学科 教授 修士（コミュニティ福祉学）

キ ム ラ                      ジ ュ ン ヤ  
木村 淳也

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本保育ソーシャルワーク学会、  
日本学校ソーシャルワーク学会、日本介護福祉学会、日本社会福祉士会、  
福島県スクールソーシャルワーカー協会

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 社会福祉学 ソーシャルワーク

これまでの研究

- 1 福祉施設における不適切な援助関係に関する研究
- 2 東日本大震災後の援助者支援に関する実践研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 スクールソーシャルワークに関する実践研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 施設における援助者支援
- 2 地域における援助者支援

キ ー ワ ー ド : 援助関係、ソーシャルワーク・スーパービジョン、連携、協働

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 『ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ』、ミネルヴァ書房、2024、共編著.
- 2 『学校福祉実践論』、ミネルヴァ書房、2024、共著.
- 3 『ソーシャルワーカーのミライ』、生活書院、2024、共著.

[ 論文 ]	
1	「スクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン実践の課題と考察」会津大学短期大学部研究紀要 第76号、2019、単著.
2	「グループ・スーパービジョンにおけるスーパーバイザーの役割と課題－社会福祉協議会における職場内研修の実践から－」会津大学短期大学部研究紀要 第72号、2016、単著.
3	「災害における保育ソーシャルワークの可能性を探る」日本保育ソーシャルワーク学会第4回研究大会要旨集 80-84、2017、単著.
[ 社会的活動 ]	
1	福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー
2	福島県教育委員会 生徒指導アドバイザー
3	郡山市教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー

## 幼児教育・福祉学科 教授 修士（教育学）

カク ショウラン

## 郭 小蘭

○所属学会・協会 / 日本保育学会会員、日本発達心理学会会員、日本子ども学会会員

日本赤ちゃん学会会員、日本心理臨床学会会員

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：発達心理学・保育学

## これまでの研究

- 1 就学前児をもつ中国の母親の信念—指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係
- 2 中国の子育てと親の持つ価値的背景について
- 3 学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割について
- 4 子育て支援の取り組みの実態—会津地域の事例から
- 5 幼児教育現場の教材から見た幼児の遊びの指導法
- 6 布遊具遊びに見られる幼児の思考力の芽生え
- 7 ごっこ遊びの教材研究の実践例

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 保育の教材研究
- 2 授業研究（学生の保育実践力の向上につながる授業の方法）

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 子育てに関する相談

キーワード：子どもに対する接し方

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

1	三神廣子・梶田正巳・中野靖彦編著 『新・こどもの心理』 2-4、3-4、4-3、5-1 単著 福村出版株式会社 1996. 54-58、85-88、110-114、130-133
2	棚橋昌子・白石淑江編著『親と子のメンタルヘルス』 5-1、5-2 単著 中央法規出版株式会社 1997. 133-142、143-163
3	小嶋秀夫・河合優年編 『児童心理学』 第8章 単著 近畿大学豊岡短期大学発行 1991.73-78
4	岸井勇雄監修 上野恭裕編著 『おもしろく簡潔に学ぶ保育内容総論』 4-3 単著 保育出版社 2008. 59-62
5	咲間まり子編著 『コンパス 乳児保育』 4-2 4-3 単著 建帛社 2018年2月. 41-45
6	福島県保育者養成校連絡会編 『保育実習の手引き』 2020年4月
[ 論文 ]	
1	就学前児をもつ中国の母親の信念—指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係 単著 1991. 発達心理学研究第2巻、第2号、60-69
2	父娘関係、父親像と娘からみた父親の魅力 共著 南山大学『アカデミア』 人文・社会科学編 第61号 1995. 195-227
3	日本と中国の大学生のストレスとその対処行動 共著 東京学芸大学紀要、第一部門教育科学 第47集 1996. 7-15
4	中国の子育てと親の持つ価値的背景について - 99年度面接調査からの予備的分析 共著 平成10-12年度 科 学研究費補助金 基盤研究 (A)(2) (海外) 研究成果報告書 2001. 117-134
5	学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割 - 女子中学生のリストカット事例からみた学校システムに対す る支援について 共著 会津大学短期大学部研究年報 第63号 2006. 83-91
6	子育て支援の取り組みの実態 - 会津地域の事例から 単著 『福島県における子育て・子育て支援に関する調 査研究』 報告書 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 2008. 129-136
7	不登校生徒をもつ母親の面接過程 - 接し方を巡る母親の葛藤 単著 会津大学短期大学部研究年報 第66号 2009
8	不登校生徒を抱える母親への支援—第三者の視点に立ち、わが子の心理を理解することへのアプローチ 単著 会津大学短期大学部研究年報 第67号 2010
9	学生の保育実践力を高めるゼミ研究の教学効果についての考察—幼児向け布絵本制作実践例 単著 会津大学 短期大学部研究年報 第72号 2015
10	布玩具魚つり遊びに見られる幼児の発達段階の違いと効果的な指導法について 単著 会津大学短期大学部研 究紀要 第73号 2016
11	幼児教育現場の教材から見た幼児の遊びの指導法 単著 会津大学短期大学部研究紀要 第73号 2016
12	自由遊びにおける保育者の指導法に関する実践研究—倉橋惣三「保育法の原則」の視点からの分析 単著 会 津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究 第3号 2017
13	布遊具遊びに見られる幼児の思考力の芽生え 単著 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究 第3号 2017
14	5歳幼児の対話と協同的学びを引き出す教材研究の実践例 単著 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育 研究 第5号 2018
15	簡単で楽しい遊びが広がる手作り遊具—おひさま保育園の遊具研究の取り組みからの考察— 共著 会津大学 短期大学部幼児教育学科幼児教育研究 第9号 2023

[ 社会的活動 ]	
1	福島県保育者養成校連絡会研究部会委員(2005年4月~現在)
2	会津学鳳中学校高等学校の学校評議員 (H19.4からH25.3)
3	会津若松市男女共同参画審議会委員 (H17.5-H18.4).
4	放課後児童支援員認定資格研修講師(2015年11月~2019年)
5	会津若松市湊しらとり保育園指定管理者候補者選定委員会委員(2016年4月~2017年3月。2020年4月~2021年3月)
6	派遣講座「個別育児相談」(認定こども園若松第二幼稚園 星の子ランド主催 2016年~2019年)
7	福島民報主催「みんぼう愛・会カフェin会津」(2017年3月11日)
8	福島民報主催「みんぼう愛・会カフェin会津坂下」(2017年7月15日)
9	会津若松市子ども・子育て会議の委員(2017年-現在)
10	「平成30年度全国保育士養成協議会東北ブロックセミナー 郡山大会」当番校事務局幹事(2018年11月24日・25日)
11	福島県社協 福島県福祉人材センター運営委員会委員(2018年4月~2021年3月)
12	福島県社協 福祉研修事業運営委員会委員(2018年4月~2021年3月)
13	小野町認定こども園整備運営事業者選定審査委員会委員(令和元年)
14	平成30年度福島県委託事業 保育園長・認定こども園長・主任保育士・主幹保育教諭等特別研修会講師(2019年12月5日)
15	「すくすく園」主催 保育士研修会講師(2021年2月13日)
16	派遣講座 「子どもの発達と保育に関すること」 光南高校2年生対象 2023年1月31日
17	2023年度全国保育士養成協議会全国セミナー実行委員第9分科会運営委員2023年9月2日-9月3日
18	派遣講座 「子どもの発達と保育に関すること」 光南高校2年生対象 2024年2月22日
19	派遣講座「子どもの発達と保育に関すること」 尚志高校2年生対象 2024年度6月22日
20	会津若松市湊しらとり保育園指定管理者候補者審査会委員(2024年4月~2025年3月)

幼児教育・福祉学科 教授 修士（芸術学）

カワラダ ジュン

河原田 潤

○所属学会・協会 / 日本保育学会

●専門分野とこれまでの研究

専門分野：幼児音楽、器楽合奏全般、オーケストラ・室内楽奏法（コントラバス）

これまでの研究

- 1 保育現場で必要とされている楽器の取り扱い方とその演奏法について
- 2 保育者に必要とされる音楽理論
- 3 音楽を通じた子どもとの関わり方について
- 4 専門分野（コントラバス奏者）での演奏活動

●現在の研究テーマおよび概要

基礎的・基本的な音楽理論と技術の習得について

- 1 保育者をめざす、「音楽」が苦手な学生に対して、いかに「音楽」に親しみ、楽しむことができるかを共に考え、興味や関心を持てるような指導の仕方に取り組んでいます。

保育現場で扱われる楽器を使った合奏について

- 2 楽器は「道具」であることを、子どものみならず保育者も知ることによって、楽器に対する正しい知識を身に付け、自分で出す音に新しい発見があったり感動する気持ちを持ってもらいたいと思っています。

専門分野（コントラバス奏者）での演奏活動について

- 3 これまで培ってきた演奏現場での経験、知識から、さらに充実した演奏活動を行い、内容を深めようと考えています。

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 幼児の音楽
- 2 保育者に必要とされる音楽理論
- 3 室内楽・オーケストラの指導
- 4 独奏・室内楽・オーケストラでの演奏

キーワード：音楽、音楽理論、合奏

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 論文 ]	
1	幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察 一保育実習アンケートによる幼児音楽について－ 常葉学園短期大学紀要 第38号 単著、2007、P.103-112
2	幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察 2 一保育実習アンケートによる幼児音楽について－ 常葉学園短期大学紀要 第39号 単著、2008、P.49-57
3	保育現場で使用される楽器の基本的な取り扱い方と、子どもへの働きかけについて 常葉学園短期大学紀要 第41号 単著、2010、P.91-100
4	保育士養成系に学ぶ学生のピアノ力の現状と、それに伴う問題と課題について考える 一本学学生の実態を基にして－ 常葉学園短期大学紀要 第43号 単著、2012、P.115-122
5	保育士・幼稚園教諭養成系における「音楽理論」の必要性和授業展開についての一考察 常葉大学短期大学部紀要 第46号 単著、2015、P.129-138
6	幼児期における楽器を使用した音楽表現の指導法についての一考察 - 「鍵盤ハーモニカ」の基礎的・基本的な扱い方を通して- 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究第3号 単著、2017、P.1～P.12
7	教職コアカリキュラムと領域「音楽表現」～幼児教育に関する音楽～ 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究第5号 単著、2018、P.11～P.17
[ 社会的活動 ]	
1	全国保育士養成協議会関東ブロック実行委員として、全国保育士養成セミナー第49回研究大会（平成22年9月15～17日）実行委員（H.21.5.1-H.23.3.31）
2	幼稚園教諭対象教員免許更新講習における、表現系音楽講師（常葉大学短期大学部主催 平成23年度～平成27年度）
3	職業音楽家（コントラバス）として、室内楽・プロオーケストラへのエキストラ出演等の演奏活動（現在も継続）
4	室内楽・オーケストラ・吹奏楽（パートを含む）の指導活動（現在も継続）

幼児教育・福祉学科 教授 修士（文学）

ワカバヤシ タツジ

若林 達司

○所属学会・協会 / 日本英文学会、ヴィクトリア朝文化研究会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 中世イギリス文学、英語圏の文学

これまでの研究

- 1 中世イギリス文学
- 2 Geoffrey Chaucer研究
- 3 1950年代、戦後イギリス社会研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 Geoffrey Chaucer研究
- 2 1950年代、戦後イギリス社会研究
- 3 ヴィクトリア朝のロンドン及びイギリス社会研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 英語文学
- 2 英語教育（英語発音、英文法、英文読解）
- 3 イギリス社会

キ ー ワ ー ド : 英語、文学、教育、発音、文法、読解、イギリス社会

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 『インターナショナル日本語英語新辞典』 実教出版 平成6年6月 共著
- 2 『概説イギリスの文学』 桐原書店 平成7年1月 共訳

## [ 論文 ]

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 『The Parlement of foulesにおけるGoddesNatureについて』 静岡英和女学院短期大学紀要30号 静岡英和女学院短期大学 平成10年2月   |
| 2 | 『チョーサーにおける「権威」と「経験」：バースの女房と結婚談義を中心に』 静岡英和学院大学紀要4号 静岡英和学院大学 平成19年2月   |
| 3 | 『イギリス東部を襲った1953年North Sea Flood 異文化理解の糸口として (1953 North Sea Flood - A Clue to Cross Cultural Understanding)』 『新教職課程を構成する科目の内容編成に関する総合的研究』 静岡英和学院大学 平成30年2月 静岡英和学院大学共同研究助成金 |
| 4 | 『ロンドンの「霧」をめぐって (1) 文化的、歴史的考察』、会津大学短期大学部研究紀要 第77号 (2020)  |

## [ 社会的活動 ]

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 「英語発音のレベルアップ！リスニングは怖くない！」会津大学短期大学部公開講座2019年9月 |
| 2 | 「英語発音のブラッシュアップ！！」会津大学短期大学部公開講座2020年9月         |
| 3 | 「英語発音のグレードアップ～つながる音の練習」会津大学短期大学部公開講座2021年9月   |
| 4 | 「リンカーン大統領の名演説で発音トレーニング」会津大学短期大学部公開講座2022年9月   |
| 5 | 「英語発音のベーシックトレーニング」会津大学短期大学部公開講座2023年9月        |

## 幼児教育・福祉学科 准教授 修士（教育学）

イ ガ ラ シ カ ズ ノ リ

## 五十嵐 一徳

○所属学会・協会 / 日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本行動分析学会、

日本発達障害支援システム学会

## ●専門分野とこれまでの研究

専門分野：特別支援教育 障害児保育 応用行動分析学

これまでの研究

- 1 知的障害のある自閉症スペクトラム障害児に対するセルフマネジメントの育成
- 2 知的障害のある自閉症スペクトラム障害児に対する社会的行動の育成
- 3 知的障害のある子どもの行動問題に関する研究
- 4 発達障害のある子どもの学習支援

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 知的障害・発達障害のある子どもに対する自己調整学習の促進  
障害のある子ども自身が自分の行動を観察し、評価し、記録するスキルの向上を目的とする実践研究
- 2 知的障害・発達障害のある子どもに対する社会的行動の育成  
QOL向上のために必要な社会的行動を障害児自身がいかに適切に使用できるかを検討する実践研究
- 3 知的障害・発達障害のある子どもや成人の行動問題（強度行動障害）への支援  
行動問題を生起させている環境を同定し、QOL向上につながる環境を整備する実践研究
- 4 知的障害・発達障害のある子どもの学習支援  
障害のある子どものアカデミックスキル向上を目的とした実践研究
- 5 幼児期における社会性と情動の学習（SEL）の促進  
非認知的スキルであるSELを幼稚園、保育所、こども園の中でいかに育み、評価するのかに着目した研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 知的障害・発達障害のある子どもの社会的コミュニケーションスキルへの支援
- 2 知的障害・発達障害のある子どもの行動問題への支援
- 3 知的障害・発達障害のある子どもへの学習支援

キ ー ワ ー ド : 社会的コミュニケーション、行動問題、アカデミックスキル、応用行動分析学

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 著書 ]	
1	「発達障害のある子の「行動問題」解決ケーススタディーやさしく学べる応用行動分析」（共著）中央法規出版 2010
2	「8つの視点うまくいく！発達障がいのある子のABAケーススタディーアセスメントからアプローチへつなぐコツ」（共著）中央法規出版 2013
3	「ちゃんと人とつきあいたい2 -発達障害や人間関係に悩む人のためのソーシャルスキル・トレーニング」（共著）エンパワメント研究所 2017
4	「保育学用語辞典」（共著）中央法規出版 2019
5	「機軸行動発達支援法」訳本（共著）二瓶社 2009
[ 論文 ]	
1	自閉症児・者における社会的行動への発達支援－セルフマネジメント手続きを中心に－. 東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅱ, 第64号, 2013
2	知的障害のある自閉症児に対する視覚的補助刺激の有効な活用法－買い物場面における品物の所在を尋ねる行動の習得を通して－. 広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センター研究紀要, 第12号, 2014
3	知的障害特別支援学校における行動問題の実態と教員の意識調査. 発達障害研究, 37巻第2号, 2015
4	選択性緘黙児における状態像の違いが介入効果に及ぼす影響に関する文献的検討：1990年以降の個別事例研究を中心に. 発達障害研究, 38巻第1号, 2016
5	特別支援学校（知的障害）における児童生徒の自傷行動と支援に関する調査研究－コミュニケーションとの関連および自傷行動の機能に焦点をあてて－. 特殊教育学研究, 58巻第3号, 2020
[ 社会的活動 ]	
1	日本発達障害学会 評議員（2018年1月～現在）
2	全国保育士養成協議会東北ブロック研究委員（2025年4月～現在）

## 幼児教育・福祉学科 准教授 修士（教育学）

ハ ヤ マ リ ョ ウ ソ ウ  
葉山 亮三

○所属学会・協会 / 日本美術教育学会、日本基礎造形学会、大学美術教育学会、日本保育学会、

ものづくり教育会議

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 造形教育

これまでの研究

- 1 こどもを対象とした造形教育の教材研究
- 2 造形活動における意欲喚起の方法
- 3 作品制作による表現、及び素材研究
- 4 地域環境・特性と連動した教材研究

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 リピーテーションを用いた造形教育の指導法
- 2 場の特性、地産を活用した造形表現
- 3 素材の原体験を活用した表現方法

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 造形表現、図画工作、美術科の教育教材
- 2 絵画、造形表現のワークショップ

キ ー ワ ー ド : 造形教育、ワークショップ

## ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 「図画工作・基礎造形－美術教育の内容－」 建帛社 2016 共著

## [ 論文 ]

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 造形教育における意欲の喚起・リズム 愛知教育大学大学院修士論文 2007                     |
| 2 | 感性・創造の授業実践報告－様々な素材体験が培う感じて考える力－ 共著 愛知教育大学紀要 2015         |
| 3 | 教育実習に向けた図画工作科研究－素材、技法、幼児への理解－ 会津大学短期大学部 幼児教育研究 第2号 2016  |
| 4 | 幼児・児童の構成表現とその指導法 会津大学短期大学部研究紀要 第74号 2016                 |
| 5 | 地域、環境を結ぶ造形表現－小さな黄色い手紙プロジェクト実践報告－ 会津大学短期大学部 幼児教育研究4号 2018 |
| 6 | 造形活動としての多面体を活用した秘密基地作りの展開 会津大学短期大学部幼児教育学科研究紀要 第9号 2023   |

## [ 社会的活動 ]

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 会津若松市地域学校協働事業部 評価・検証委員会 委員 (2017年4月-現在) |
|---|---|



●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 著書 ]	
1	「保育内容人間関係」（共著） 大学図書 2015
2	「エピソードから楽しく学ぼう 子ども理解と支援」（共著） 創成社 2014
[ 論文 ]	
1	幼児期の発達と就園 -A県B市の幼保連携型認定こども園を事例として- 会津大学短期大学部研究紀要 第78号 pp.83-93 2021
2	保育者による子育て支援に関する一考察 -母親の対人行動特性と個人特性の関連について焦点を当てて- 会津大学短期大学部幼児教育学科紀要 第7号 pp.1-8 2020
3	子育て環境が母親に与える影響に関する一考察 東京純心大学紀要 現代文化学部 第21号 pp.31-39 2017
4	母親の気分状態と幼児期の子どもの社会的スキルとの関連 東京純心大学紀要 現代文化学部 第20号 pp.39-46 2016
5	祖父母の子育て支援と孫の社会的スキルの発達および祖父母の精神的健康(気分状態)との関連 比較文化研究 第113号 pp.263-272 2014
6	家族機能が幼児の社会的スキルに及ぼす影響 高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要 第11巻 第1号 pp.15-25 2014
7	幼児の社会的スキルに関する文献的展望 高崎健康福祉大学 総合福祉研究所紀要 第10巻 第1号 pp.1-20 2013
8	保育者のストレスに関する文献的展望-その2-保育者のストレスに影響する諸要因 高崎健康福祉大学 総合福祉研究所紀要 第8巻 第2号 pp.1-13 2012
9	保育者のストレスに関する文献的展望-その1-保育者のストレスの研究動向 高崎健康福祉大学 総合健康福祉研究所紀要 第8巻 第1号 pp.17-25 2011
[ 社会的活動 ]	
1	福島県スクールカウンセラー(2018～)
2	会津坂下町健やかに子どもが育つ環境づくり協議会委員(2021～)
3	福島県保育士等キャリアアップ研修【保護者支援・子育て支援】講師(2021～)
4	会津若松市保育士研修会講師(2021)
5	両沼保育協議会保育支部会研修会講師(2022)
6	福島県社会福祉審議会委員(2023～)
7	福島県保健福祉部指定管理者選定検討会委員(2023～)

## 幼児教育・福祉学科 講師 修士（体育学）

ワ タ ナ ベ      タ ク ヤ  
 渡部 琢也

○所属学会・協会 / 日本体育学会、日本体力医学会、日本教育医学会、東海体育学会、日本運動生理学会、  
 日本発育発達学会、標準化研究学会、日本生理人類学会会員

## ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : 発育発達学、運動生理学、トレーニング科学

これまでの研究

- 1 四足動物における歩行中の外乱に対する適応
- 2 ヒトにおける歩行中の外乱に対する適応
- 3 幼児期における身体組成と体力に関する研究
- 4 児童期における体力に関する研究
- 5 高齢期における体力に関する研究
- 6 大学競技スポーツにおける実践的トレーニング

## ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 幼児期における体力に関する研究
- 2 児童期における体力に関する研究
- 3 子どもにおける体組成に関する研究
- 4 高齢期における体力に関する研究
- 5 高齢者における体組成とサルコペニアに関する研究

## ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 児童と体力、運動能力
- 2 体づくり運動

3	幼児と体力、運動能力
4	高齢期における体力と運動について
5	競技スポーツにおけるトレーニングについて
6	高齢期における体組成とサルコペニア
キーワード :	体力、体格・運動能力、幼児、児童、体づくり運動、高齢者、競技スポーツ、発育発達、体組成、サルコペニア、身体活動量
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 著書 ]	
1	「新運動生理学（上巻）歩行運動」真興交易株式会社医書出版部、2001.
2	「21世紀の生活福祉・援助分析論」大学図書出版、2008.
[ 論文 ]	
1	幼児における身体組成と運動能力の相関構図の加齢変化に関する検証,教育医学56,2011
2	幼児の生活リズムと生活習慣に関する年次比較,子ども学研究論集4,2012
3	介護福祉職教育における介護予防運動指導員,名古屋経営短期大学紀要54,2013
4	体育科教育における体づくり運動の現状について,名古屋経営短期大学紀要55,2014
5	体育科教育における体づくり運動授業の質向上のための講習会の効果についての検討,子ども学研究論集6,2014
6	Confirmation of motor performance Classified by Fatty-Slim Judgment derived From Regression Evaluation of Weight against Height in Preschool Children,The Korean Journal of Physical Education.53, 2014
7	会津大学短期大学部社会福祉学科保育士養成課程在籍学生の幼稚園教諭免許の必要性和特例制度に関する調査,会津大学短期大学部研究紀要,第72号,2015
8	体育科教育における体づくり運動への取り組みの認識と実施状況,愛知大学体育学論叢21,2015
9	2015年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力,会津大学短期大学部研究紀要 第73号,2016
10	大学生の身体的経年変化から判断される東日本大震災の影響の有無,教育医学,61,2016
11	小学校における「体づくり運動」の状況:教員の意識調査を通して、子ども学研究論集(8)5-20、2016

	Establishment of Physical Growth Evaluations for Schoolchildren in Disaster Environments -
12	Construction of body fatness tracking evaluation chart-, The International Council for Health, Physical Education, Recreation, Sport and Dance 8 41-46、2016
13	2016年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017
14	高齢者における体組成測定の有効性について、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017
15	高度経済成長と福島原発事故による生物学的パラメーターのリスク分析 生産管理 24 2017
16	福島原発事故による身体発育へのリスク分析-肥瘦度のトラッキング評価に基づく解析- 生産管理 26 2019
17	Risk analysis of physique development in the Great Hanshin-Awaji Earthquake — Analysis from secular trends in age at maximum peak velocity for physique — International Journal of Japan Society for Production Management 7 2019
18	介護予防における体組成測定の有効性の検討、会津大学短期大学部研究紀要 第77号、2020
19	新潟中越地震における体格発育のリスク分析 生産管理 27 2020
[ その他 ]	
1	小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動（遊び）、愛知県教育委員会、2011
2	子どもの体力向上運動プログラム 多様な動きを作る運動（遊び）（小学校低学年・中学年 全36種目）DVD、愛知県教育委員会、2011
3	報告書Ⅰ 愛知県における幼児の体格・運動能力に関する年代変化（1969年～2009年調査）、子どもの発育発達研究会、2011
4	報告書Ⅱ 愛知県における幼児の生活リズム・生活行動・遊び環境の実態（2009年調査）、子どもの発育発達研究会、2011
5	小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動（遊び）「活用事例集」、愛知県教育委員会、2013
6	活用事例集を活かした「指導事例」、愛知県教育委員会、2013
7	学校体育における運動遊び、子どもと発育発達Vol11 No.2、2013
8	平成25年度子どもの体力向上運動プログラム「小学校高学年向け」、愛知県教育委員会、2014
9	健康づくりに取り組むために、ゆう&ゆう、2014
10	運動が苦手な子への教育および支援のポイント、健康教室2014年12月号、2014
11	会津の伝承遊び、子どもと発育発達Vol12、2015

## [ 社会的活動 ]

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 新城市教育委員会 文部科学省「子どもの体力向上実践事業」実行委員会委員（平成19年3月まで）     |
| 2 | 豊橋市生涯スポーツ推進市民会議委員（平成26年3月まで）                       |
| 3 | 新城市教育委員会 文部科学省「運動部活動活性化推進事業」調査研究協力者会議委員（平成22年3月まで） |
| 4 | 愛知県教育委員会 体育スポーツ実践講座 講師（平成26年3月まで）                  |
| 5 | 愛知県教育委員会 子どもの体力向上支援委員会委員（平成26年3月まで）                |
| 6 | 会津若松市障がい者計画・第4期障がい者福祉計画策定調整会議委員（平成27年3月まで）         |
| 7 | 会津美里町子ども・子育て会議委員（現在に至る）                            |

幼児教育・福祉学科 講師 修士（社会福祉学）

サ サ キ セ イ ジ  
佐々木 誠二

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本子ども虐待防止学会、社会事業史学会、

日本社会福祉士会、日本ソーシャルワーカー協会

### ●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 : ソーシャルワーク、子ども家庭福祉

これまでの研究

- 1 児童相談所におけるケースワークに関する研究
- 2 児童虐待防止に関する研究

### ●現在の研究テーマおよび概要

- 1 児童福祉司の専門性に関する研究
- 2 児童相談所のケースワークに関する研究

### ●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 子どもの権利擁護
- 2 施設・組織におけるチームアプローチ
- 3 子ども虐待を防ぐためには
- 4 施設内虐待の予防
- 5 子ども・保護者・関係機関とのコミュニケーション

キ ー ワ ー ド : ソーシャルワーク、チームアプローチ、権利擁護、多機関連携

### ●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[ 著書 ]

- 1 社団法人社会福祉士会・社団法人日本医療社会事業協会編（2009）『保健医療ソーシャルワーク実践1』、中央法規、46-59（翻訳）

2	岩崎浩三・三上邦彦（監訳）（2010）『施設で育つ世界の子どもたち』、筒井書房、207-231（翻訳）
3	佐久間美智雄・坂本健編著（2021）『保育の基礎を学ぶ2実践に活かす子ども家庭福祉』、ミネルヴァ書房、152-169（共著）
4	渡邊慶一編著（2025）『あなたとともに考える子ども家庭福祉 こどもまんなか社会を実現するために』、教育情報出版、61-67（共著）
5	佐久間美智雄・坂本健編著（2025）『保育の基礎を学ぶ2 実践に活かす子ども家庭福祉第2版』、ミネルヴァ書房、150-168（共著）
6	小口将典編著（2025）『ファミリーソーシャルワーク』、ミネルヴァ書房、150-162（共著）
[ 論文 ]	
1	「児童虐待通告制度における罰則規定の考察」『ソーシャルワーカー』8号（ソーシャルワーカー協会）、88-94、2004（単著）
2	「宮城県中央児童相談所草創期におけるアリス・キャロルの指導とケースワーク」、『東北の社会福祉研究』18号、7-22、2022（単著）※査読あり
3	「児童相談所における児童福祉司の専門性を担保する要因の検討ーモデル指定を受けた児童相談所の児童福祉司のインタビューをもとにー」、『東北の社会福祉研究』19号、50-66、2023（単著）※査読あり
4	「児童福祉司の専門性に関する一考察」『会津大学短期大学部紀要』81号、69-96、2024（単著）研究ノート
5	「児童相談所における児童福祉司のケースワークの変遷」、『東北の社会福祉研究』20号、7-23、2024（単著）※査読あり
6	「児童相談所における児童福祉司の配置に関する現状と課題」、『会津大学短期大学部紀要』81号、23-37、2024（単著）論文
[ 社会的活動 ]	
1	会津若松市民生委員推薦会委員（2023年5月-現在）
2	福島県意見表明等支援員（2024年9月-現在）
3	福島県社会福祉士会子ども家庭支援委員会委員（2025年6月-現在）
4	児童養護施設会津児童園職員アドバイザー（2025年6月-現在）
5	会津若松市社会福祉協議会評議員（2025年6月-現在）

幼児教育・福祉学科 講師 修士（教育学）

タ カ タ                      マ サ ヤ  
高田 正哉

○所属学会・協会 / 日本デューイ学会、教育哲学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 教育学、教育思想史、教育哲学、アメリカ教育思想史、教育学研究法

これまでの研究

- 1 プラグマティズム
- 2 教育学研究法（主に質的調査法）の倫理的理解

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 ノーマン・K・デンジンの質的調査法の思想
- 2 ナラティブ研究の思想と方法
- 3 ケアの倫理・関係性の倫理学
- 4 対話的学び（哲学対話、ワークショップなど）
- 5 コミュニティ教育研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 教育思想史・教育哲学
- 2 アメリカ教育思想
- 3 ナラティブ研究、ナラティブ探究
- 4 対話的学び
- 5 哲学対話
- 6 コミュニティ教育研究

キ ー ワ ー ド ： 教育学、哲学、教育哲学、メディア論、カルチュラル・スタディーズ

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[ 論文 ]	
1	「A・ストラウスはミルズ動機論をどのように発展させたか：他者によるアイデンティティ変容の理論へ向け て」、『日本デューイ学会紀要第』58号、35－44頁。
2	「デンジンの「社会的想像力」のポストモダン社会における意義：「生きられた経験」からの公共性の再構築 に向けて」、『日本デューイ学会紀要』第57号、33－42頁。
3	「参加型アクションリサーチは、なぜ求められるのか：質的調査の道徳的基準をめぐって」、『上田女子短期 大学紀要』44号、21－30頁。
他多数	
[ 社会的活動 ]	
1	上田市社会教育委員会（2020年～2022年）
2	磐梯町学習環境コーディネーター（2021年度）
3	上田市「信州上田学」コーディネーター（2020年度、2021年度）
4	会津若松市社会教育委員（2023年～現在に至る）



会津大学短期大学部地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田 1-1

TEL : 0242-23-7034      FAX : 0242-37-2412

e-mail : [chiiki@jc.u-aizu.ac.jp](mailto:chiiki@jc.u-aizu.ac.jp)

<https://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

